元総社蒼海遺跡群(17街区)

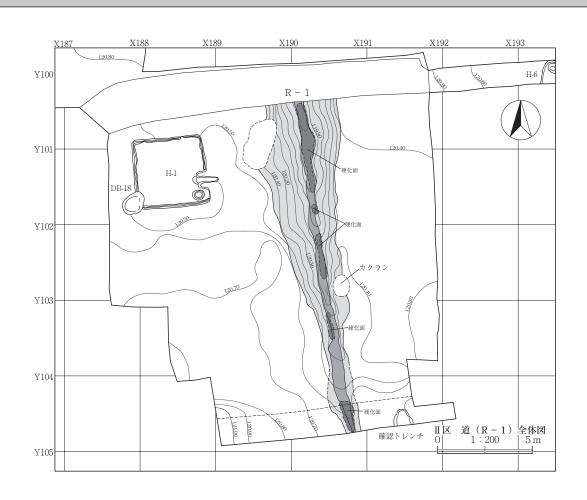
J X 日 鉱 日 石 エ ネ ル ギ ー 株 式 会 社 店 舗 建 設 に 伴 う 埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 報 告 書

2 0 1 6. 1

前橋市教育委員会 JX日鉱日石エネルギー株式会社 技研コンサル株式会社

元総社蒼海遺跡群(17街区)

JX日鉱日石エネルギー株式会社店舗建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書



2 0 1 6. 1

前橋市教育委員会 JX日鉱日石エネルギー株式会社 技研コンサル株式会社



1 元総社蒼海遺跡群(17街区)遠景1(西から)



2 元総社蒼海遺跡群(17街区)遠景2(南から)



元総社蒼海遺跡群 (17街区) 遺跡全体写真 (上が北)



元総社蒼海遺跡群(17街区) II 区 道(R-1)全景(南から)

例 言

- 1 本書は JX 日鉱日石エネルギーによるガソリンスタンド建設計画に伴う「元総社蒼海遺跡群(17 街区)(前橋市 0142)」(前橋市遺跡コード: 27A201)の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査の要項は次のとおりである。

遺跡名 元総社蒼海遺跡群(17街区)

調査場所 前橋市元総社町 1804·1·1803、前橋市総社町総社 3097·3098

遺跡コード 27 A 201

発掘調査期間 平成27年6月29日~平成27年8月21日

整理・報告書作成期間 平成 27 年 8 月 24 日~平成 27 年 12 月 28 日

- 3 本書の原稿執筆は I を藤坂和延(前橋市教育委員会)、他を楢崎が担当した。
- 4 発掘調査および整理作業参加者は以下の通りである(五十音順)。

発掘調査:新井 寛 楳原義久 遠藤好則 太田英明 加藤知恵子 川野京子 今野妙子 佐藤和彦 佐藤文江 鈴木靖美 諏訪尤子 高橋一巳 高野フミ子 田部井美砂子 土屋和美 畠山勝利 福井友里恵 松村春樹 矢内朝夫

整理作業:新井悦子 飯島冬子 諏訪尤子 福島禄子 松村春樹

- 5 本書における図面写真遺物は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。
- 6 下記の機関にご指導ご協力を賜りました。記して謝意を表します。 前橋市教育委員会上野国府等調査委員会委員ならびに調査部会幹事各位。

凡. 例

- 1 挿図中に使用した北は座標北である。
- 2 挿図に国土地理院発行 1 /200,000 『宇都宮』 『長野』、1 /25,000 『前橋』、前橋市発行 1 /2,500 都市計画図 を使用した。
- 3 遺構名称は、竪穴住居:H、土坑:D、土坑墓:DB、火葬跡:KB、竪穴状土坑:TD、縄文土坑:JD、道:R、溝:W である。
- 4 遺構遺物実測図の縮尺は原則的に次の通りである。その他各図のスケールを参照されたい。

遺構 竪穴住居・竪穴状遺構・溝: 1/60・1/30 土坑墓・火葬跡: 1/50 土坑: 1/50・1/60

全体図: 1/200·1/250

遺物 土器石製品: 1/3·1/4 銭貨: 1/1

- 5 本文及び表中の計測値については()は現存値を、[]は復元値を表す。
- 6 遺構図、遺物実測図のトーン表現は以下の通りである。

遺物 須恵器 (還元焰) : 施釉:

7 主な火山降下物等の略称と年代は次の通りである。

As-B (浅間 B 軽石: 1108 年) Hr-FP (榛名二ッ岳伊香保テフラ: 6世紀中葉) Hr-FA (榛名二ッ岳渋川テフラ: 6世紀初頭) As-C (浅間 C 軽石: 3世紀後葉~4世紀前半)

目 次

巻頭図版1

巻頭図版2

例言凡例

Ι	調査に至る経緯	1
II	遺跡の位置と環境	2
${\rm I\hspace{1em}I\hspace{1em}I}$	調査の方針と経過	7
	1 調査範囲と基本方針	7
	2 調査経過	7
IV	基本層序····	7
V	遺構と遺物	9
	1 I 🗷 ······	9
	(1) 竪穴住居	9
	(2) 土坑	12
	2	14
	2 面:古代面	14
	(1) 竪穴住居	14
	(2) 土坑:確認トレンチ部	16
	(3) 道·····	16
	(4) 道下土坑	22
	1面:中世面	23
	(1) 土坑墓	23
	(2) 火葬跡	23
	(3) 土坑	23
	(4) 確認トレンチ	23
	3 Ⅲ区······	37
	(1) 竪穴住居	37
	4 NZ	38
	(1) 竪穴住居	38
	(2) 竪穴土坑	43
	(3) 縄文土坑	43
	(4) 溝	44
VI	発掘調査の成果と課題	46
	1 古代の道	46
	2 中世土坑墓	47

挿図目次

Fig. 1	元総社蒼海遺跡群(17街区)の位置1
Fig. 2	周辺遺跡図3
Fig. 3	元総社蒼海遺跡群(17街区)位置図とグリッド設定図 … 6
Fig. 4	基本層序7
Fig. 5	元総社蒼海遺跡群(17街区)全体図8
Fig. 6	I 区全体図 ·····9
Fig. 7	I 区H-1・2 号住居10
Fig. 8	I 区H-3号住居11
Fig. 9	I 区土坑 ······12
Fig.10	I 区出土遺物 ······13
Fig.11	Ⅱ区2面全体図14
Fig.12	Ⅱ区H-1号住居 ······15
Fig.13	Ⅱ区確認トレンチ部D-1号土坑平面図・遺物16
Fig.14	Ⅱ区R-1検出面17
Fig.15	Ⅱ区セクション (1)18
Fig.16	Ⅲ区セクション (2)19
Fig.17	Ⅱ区セクション (3)20
Fig.18	Ⅱ区R-1掘り方平面図21
Fig.19	Ⅱ区R-1出土遺物 ·····22
Fig.20	Ⅱ区R-1下土坑セクション22
Fig.21	Ⅱ区1面全体図23
Fig.22	Ⅱ区1面DB-1·2·13号土坑墓、KB-1号火葬墓、D-2~6·
	9 号土坑25
Fig.23	9 号土坑·······25 Ⅲ区 1 面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26
Fig.23 Fig.24	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3火葬墓 …26
	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2火葬墓、D-1·7·8号
Fig.24	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅱ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑······27
Fig.24	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑·······27 Ⅲ区1面DB-4~10·18号土坑墓 ·····28
Fig.24 Fig.25 Fig.26	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑·······27 Ⅲ区1面DB-4~10·18号土坑墓 ····28 Ⅲ区1面出土遺物(1)····29
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑····································
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27 Fig.28	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑············27 Ⅲ区1面DB-4~10·18号土坑墓 ···28 Ⅲ区1面出土遺物(1) ···29 Ⅲ区1面出土遺物(2) ···30 Ⅲ区1面出土遺物(3) ···31
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27 Fig.28 Fig.29	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑················27 Ⅲ区1面DB-4~10·18号土坑墓 ···28 Ⅲ区1面出土遺物(1) ········29 Ⅲ区1面出土遺物(2) ········30 Ⅲ区1面出土遺物(3) ········31 Ⅲ区1面出土遺物(4) ······32
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27 Fig.28 Fig.29 Fig.30	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑···········27 Ⅲ区1面DB-4~10·18号土坑墓 ···28 Ⅲ区1面出土遺物(1) ···29 Ⅲ区1面出土遺物(2) ···30 Ⅲ区1面出土遺物(3) ···11 Ⅲ区1面出土遺物(4) ···32 Ⅲ区1面出土遺物(5) ···33
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27 Fig.28 Fig.29 Fig.30 Fig.31	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑···········27 Ⅲ区1面DB-4~10·18号土坑墓 ···28 Ⅲ区1面出土遺物(1) ···29 Ⅲ区1面出土遺物(2) ···30 Ⅲ区1面出土遺物(3) ···11 Ⅲ区1面出土遺物(4) ···32 Ⅲ区1面出土遺物(5) ···33 Ⅲ区1面出土遺物(6) ···34
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27 Fig.28 Fig.29 Fig.30 Fig.31 Fig.32	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑·······················27 Ⅲ区1面DB-4~10·18号土坑墓 ···28 Ⅲ区1面出土遺物(1) ···29 Ⅲ区1面出土遺物(2) ···30 Ⅲ区1面出土遺物(3) ···31 Ⅲ区1面出土遺物(4) ···32 Ⅲ区1面出土遺物(5) ···33 Ⅲ区1面出土遺物(6) ···34 Ⅲ区1面出土遺物(6) ···34 Ⅲ区H-1号住居跡 ···37
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27 Fig.28 Fig.29 Fig.30 Fig.31 Fig.32 Fig.33	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑···················27 Ⅲ区1面DB-4~10·18号土坑墓 ···28 Ⅲ区1面出土遺物(1) ···29 Ⅲ区1面出土遺物(2) ···30 Ⅲ区1面出土遺物(3) ···31 Ⅲ区1面出土遺物(4) ···32 Ⅲ区1面出土遺物(5) ···33 Ⅲ区1面出土遺物(6) ···34 Ⅲ区H-1号住居跡 ···37 Ⅳ区全体図 ···38 ···38
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27 Fig.28 Fig.30 Fig.31 Fig.32 Fig.33 Fig.33	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑···········27 Ⅲ区1面DB-4~10·18号土坑墓 ···28 Ⅲ区1面出土遺物(1) ···29 Ⅲ区1面出土遺物(2) ···30 Ⅲ区1面出土遺物(3) ···31 Ⅲ区1面出土遺物(4) ···32 Ⅲ区1面出土遺物(5) ···33 Ⅲ区1面出土遺物(6) ···34 Ⅲ区H-1号住居跡 ···37 Ⅳ区全体図 ···39
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27 Fig.28 Fig.29 Fig.30 Fig.31 Fig.32 Fig.33 Fig.34 Fig.35	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑·····················27 Ⅲ区1面DB-4~10·18号土坑墓 ···28 Ⅲ区1面出土遺物(1) ···29 Ⅲ区1面出土遺物(2) ···30 Ⅲ区1面出土遺物(3) ···31 Ⅲ区1面出土遺物(5) ···33 Ⅲ区1面出土遺物(6) ···34 Ⅲ区H-1号住居跡 ···37 Ⅳ区全体区 ···38 Ⅳ区H-1·2号住居、TD-1竪穴土坑跡 ···39 Ⅳ区H-3号住居跡 ···40
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27 Fig.28 Fig.29 Fig.30 Fig.31 Fig.32 Fig.33 Fig.34 Fig.35 Fig.36	Ⅱ区1面DB-19~23・25・26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3・11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1・7・8号 土坑·····················27 Ⅲ区1面DB-4~10・18号土坑墓 ···28 Ⅲ区1面出土遺物(1) ···29 Ⅲ区1面出土遺物(2) ···30 Ⅲ区1面出土遺物(3) ···31 Ⅲ区1面出土遺物(4) ···32 Ⅲ区1面出土遺物(5) ···33 Ⅲ区1面出土遺物(6) ···34 Ⅲ区H-1号住居跡 ···37 Ⅳ区全体図 ···38 Ⅳ区H-1・2号住居、TD-1堅穴土坑跡 ···39 Ⅳ区H-3号住居跡 ···40 Ⅳ区H-4・H-5号住居跡 ···41
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27 Fig.28 Fig.29 Fig.30 Fig.31 Fig.32 Fig.33 Fig.34 Fig.35 Fig.36 Fig.37	Ⅱ区1面DB-19~23・25・26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3・11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1・7・8号 土坑·······················27 Ⅲ区1面DB-4~10・18号土坑墓 ···28 Ⅲ区1面出土遺物(1) ···29 Ⅲ区1面出土遺物(2) ···30 Ⅲ区1面出土遺物(3) ···31 Ⅲ区1面出土遺物(4) ···32 Ⅲ区1面出土遺物(5) ···33 Ⅲ区1面出土遺物(6) ···34 Ⅲ区11面出土遺物(6) ···34 Ⅲ区H-1号住居跡 ···37 Ⅳ区全体区 ···38 Ⅳ区H-1・2号住居、TD-1堅穴土坑跡 ···39 Ⅳ区H-3号住居跡 ···40 Ⅳ区H-4・H-5号住居跡 ···41
Fig.24 Fig.25 Fig.26 Fig.27 Fig.28 Fig.30 Fig.31 Fig.32 Fig.33 Fig.34 Fig.35 Fig.36 Fig.37 Fig.38	Ⅱ区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3 火葬墓 ···26 Ⅲ区1面DB-3·11号土坑墓、KB-2 火葬墓、D-1·7·8号 土坑············27 Ⅲ区1面DB-4~10·18号土坑墓 ···28 Ⅲ区1面出土遺物(1) ···29 Ⅲ区1面出土遺物(2) ···30 Ⅲ区1面出土遺物(3) ···31 Ⅲ区1面出土遺物(4) ···32 Ⅲ区1面出土遺物(5) ···33 Ⅲ区1面出土遺物(6) ···34 Ⅲ区H-1号住居跡 ···37 Ⅳ区全体図 ···38 Ⅳ区H-1·2号住居、TD-1堅穴土坑跡 ···39 Ⅳ区H-3号住居跡 ···40 Ⅳ区H-4·H-5号住居跡 ···41 Ⅳ区H-6号住居跡 ···42

表目次

Tab. 1	周辺遺跡一覧表・・・・・・4
Tab. 2	I 区出土遺物観察表······13
Tab. 3	Ⅲ区確認トレンチ部D-1号土坑出土遺物観察表16
Tab. 4	Ⅱ区R-1出土遺物観察表22
Tab. 5	Ⅲ区土坑墓・火葬跡・土坑まとめ表24
Tab. 6	Ⅱ区出土遺物観察表・・・・・35
Tab. 7	IV \boxtimes JD- 1 土坑出土遺物観察表 · · · · · · · 44
Tab. 8	Ⅳ区出土遺物観察表44
Tab. 9	群馬県出土中世人骨まとめ表47
	应 基础性 17 V.
	写真図版目次
PL. 1	I 区: H-1 全景、H-2 全景・カマド全景、H-3 全景・焼失
	部材·貯蔵穴·柱穴
PL. 2	Ⅱ区:空撮全景、H-1全景・カマド全景・貯蔵穴全景
PL. 3	Ⅱ区:R-1全景、確認トレンチ部R-1全景・断面、確認ト
	レンチ部D-1 全景 · 近接
PL. 4	Ⅱ区:R-1 北壁断面全景·近接、R1北部遠景·近接、R-1北
	部石敷、R-1 北部左右対称の石、作業風景
PL. 5	Ⅱ区:2面R-1堀り方全景、R-1下D-1·D-2·D-3·D-4
PL. 6	Ⅱ 区: 1 面中世墓坑全景·東部·中央部·中央部北側·西部、
	DB-1·DB-4全景
PL. 7	II区:1面DB-5·DB-6·DB-7·DB-8·DB-10·DB-23·DB-25·
	DB-26全景
PL. 8	Ⅱ区:1面KB-1·KB-2·KB-3全景、D-1全景·近接
PL. 9	Ⅲ区:全景、H-1全景·柱穴全景 Ⅳ区:東側全景、H-1
	全景
PL.10	W区:H-3·H-4·H-5·H-6·W-1·W-2·TD-1全景
PL.11	I 区: H-2·H-3·表面採集遺物、Ⅱ区:確認トレンチ部
	D-1、1面DB-1·DB-3、2面R-1下出土遺物Ⅱ区1
	面DB-1·DB-3
PL.12	II区1面: DB-4·DB-8·DB-9·DB-10·DB-12·DB-21·DB-
	22 · DB-25 · DB-26 · D- 1 · D- 9 出土遺物
PL.13	Ⅲ区1面:KB-1·KB-2·KB-3、遺構外·表面採集出土遺
	±/π

PL.14 IV区: H1·H3·H5·H6·JD1·表面採集出土遺物

I 調査に至る経緯

平成 26 年 7 月 3 日、開発人である J X 日鉱日石エネルギーより 当該地でガソリンスタンド建設計画に伴い、当該地の「埋蔵文化財事前調査依頼書」が提出される。教育委員会では、当該地が周知の埋蔵文化財包蔵地「前橋市 0142 遺跡」であり、開発にあたっては、文化財保護法第 93 条第 1 項の届出が必要であり、その際に提出される工事の内容を確認して、その取扱いについて協議したいと回答する。平成 27 年 3 月 25 日、開発人からの文化財保護法第 93 条第 1 項の届出により工事の概要が提示される。工事の内容からは遺跡の保存に及ぼす影響が大きいことが予想され、開発人からは工事計画の変更が難しいとのことから、教育委員会は発掘調査の実施を踏まえ、試掘・確認調査を実施したいと回答する。 4 月 26 日、開発人から 「埋蔵文化財試掘調査依頼書」が提出される。 4 月 30 日、教育委員会は試掘・確認調査を実施し、古墳~平安時代の住居跡等を確認する。教育委員会は、協議の結果、発掘調査を実施し記録保存の措置を執ることで開発人との間で合意を得た。教育委員会では既に直営による発掘調査を実施しており、直営による調査の実施が困難であるため、「群馬県内の記録保存を目的とする埋蔵文化財の発掘調査における民間調査組織導入事務取扱要綱」に則り、教育委員会の作成する調査仕様書に基づく監理・指導の下、発掘調査を実施することになり、平成 27 年 6 月 29 日付けで開発人と民間調査組織である技研コンサル株式会社の間で発掘調査・整理業務委託の契約を締結されるとともに、開発人・技研コンサル株式会社・教育委員会との間で三社協定が締結され、同年 6 月 29 日から現地調査が開始された。

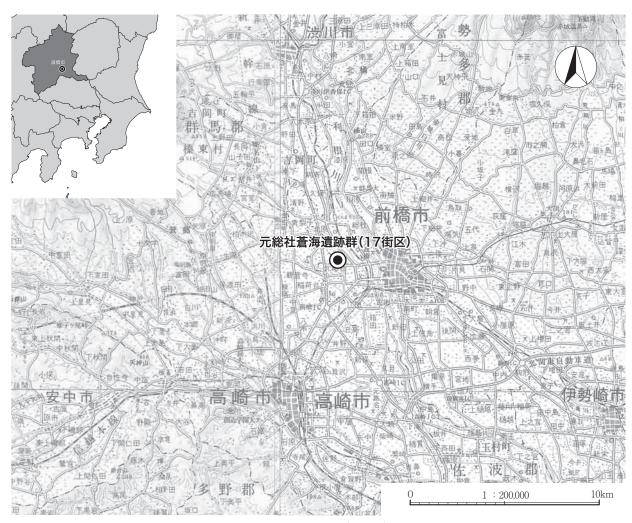


Fig. 1 元総社蒼海遺跡群(17街区)の位置

Ⅱ 遺跡の位置と環境

- 1 遺跡の位置 (Fig.1) 本調査地は、前橋市街地から利根川を隔て、西へ約2kmの地点、前橋市元総社町及び同総社町地内に所在する。西側には関越自動車道が南北に、南側には国道17号、主要地方道前橋・群馬・高崎線が東西に、また東には市道大友・石倉線が南北にそれぞれ走っている。本調査地の立地する地形は、前橋台地上、榛名山麓をその源とする牛池川、染谷川が開析し、その形成した細長い微高地との比高3~5mを測る。遺跡が立地する台地上は主として畑地として利用されているが、本遺跡地の所在する周辺地は近年住宅地が立ち並ぶ中心地にあたる。
- **2 歴史的環境**(Fig.2・Tab.1) 本遺跡が立地する元総社地域には上野国府推定地や上野国分寺・国分尼寺を中心に連綿と遺跡が広がる地域である。周辺では、関越自動車道建設や区画整理事業などに伴う発掘調査が行われており、多くの遺構が確認されている。本遺跡周辺地域における時代毎の遺跡の概要は以下の通りである。
- (1)縄文時代 八幡川右岸の微高地上に産業道路東 [15]・産業道路西 [16]・総社閑泉明神北Ⅲ遺跡 [61]、本遺跡の立地する牛池川右岸台地上に上野国分僧寺・尼寺中間地域 [22]・元総社小見Ⅲ遺跡 [59]・元総社蒼海遺跡群 [24] 等が挙げられ、竪穴住居跡が確認されている。
- (2) 弥生時代 日高遺跡 [18] [19] ・上野国分僧寺尼寺中間地域 [22] ・正観寺遺跡 [21] 等があるが、その分布は散在的である。この内、日高遺跡では浅間 C 軽石下の水田跡が確認されており、弥生時代後期から古墳時代前期にかけて継続して営まれた水田と捉えられている。
- (3) 古墳時代 古墳時代になると、本遺跡周辺地域は県内でも中心的な地域である。それを示すものとして総社古墳群が挙げられ、古墳時代後期・終末期に至り、王山古墳[7]・総社二子山古墳[12]・愛宕山古墳[10]・宝塔山古墳[13]・蛇穴山古墳[8]等の首長墓が多数築造された。この時期の集落は牛池川と染谷川に挟まれた台地上に展開しているが、前期~中期の集落は散見される程度で、後期からの集落増加が看取できる。
- (4) 奈良・平安時代 本遺跡周辺は、上野国分寺 [2]・国分尼寺 [3]・山王廃寺 [4]の建設に示されるように古代の政治・経済・文化の中心地として再編成される。

〈上野国府〉上野国府は本遺跡付近の区域に約900m四方に推定され、関連遺跡として元総社小学校校庭遺跡 [14] ・元総社寺田遺跡 [43] ・元総社宅地遺跡 [55] 等がある。元総社小学校校庭遺跡では県下最大級の掘立 柱建物跡が検出され、元総社寺田遺跡では「國府」・「曹司」・「国」・「邑厨」等の墨書土器や人形が出土している。また元総社明神遺跡 [24] では南北方向の溝跡、閑泉樋遺跡 [25] や元総社蒼海遺跡群 (7)・(9)・(10) では東西方向の溝跡が確認され、国府を考える上で貴重な資料となっている。

〈国分僧・尼寺〉国分僧寺は大正 15 年に国指定史跡となり、昭和 40 年代から部分的な発掘調査が進められるようになった。昭和 55 年以降には本格的な調査が始まり、主要伽藍の礎石・築垣・堀等が確認されている。国分尼寺は昭和 44・45 年のトレンチ調査により伽藍配置が推定され、その後平成 12 年度に前橋市埋蔵文化財発掘調査団により南辺での寺域確認調査が行われた。調査の結果、南東・南西隅の築垣と、それに平行する溝跡や道路状遺構等が確認されている。関連遺跡として中尾遺跡 [17] で神社遺構、鳥羽遺跡 [20] で工房跡が確認され、上野国分僧寺・尼寺中間地域 [22] では大規模な集落・掘立柱建物跡群が検出されている。

〈山王廃寺〉山王廃寺は昭和3年に日枝神社境内が「山王塔址」として国指定史跡となり、その後昭和49~56年にかけて7次にわたる本格的な発掘調査が行われた。この調査で金堂の検出および「放光寺」箆書の平瓦出土により山王廃寺が「山ノ上碑」「上野国交替実録帳」にみられる「放光寺」であることが有力視されるようになった。

平成9~11年の調査でも土坑から大量の塑像が出土し、平成18・19年度調査では北・東・西面、平成20年

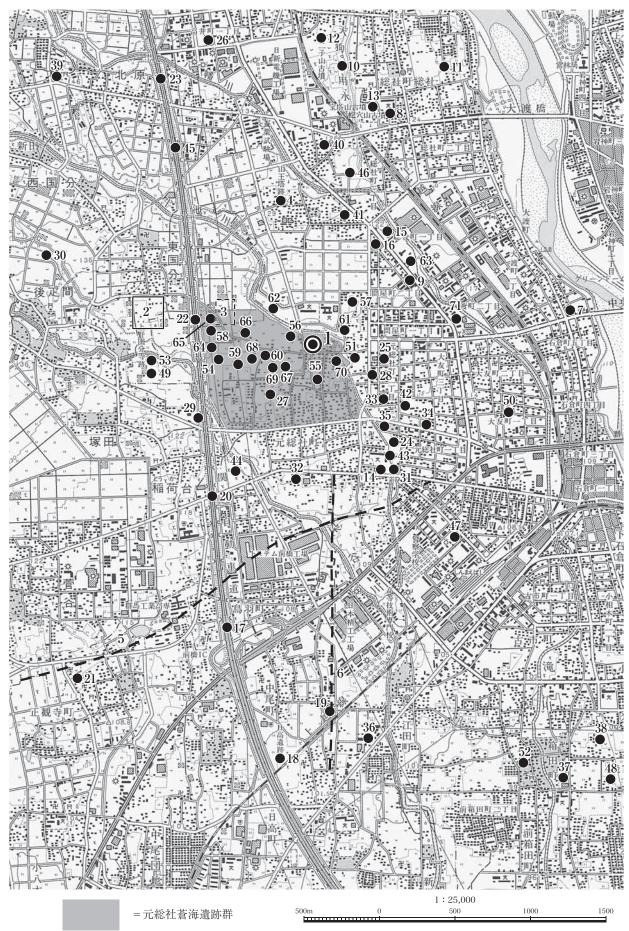


Fig. 2 周辺遺跡図

度調査では南面の回廊を検出している。さらに平成21年度調査では「推定中門」と「西側南側回廊」の周辺部が、平成22年度調査では北西隅の回廊と接するように「基壇建物跡」と「北方建物群」が確認されている。なお、この寺の塔心礎や石製鴟尾、根巻石等の石造物群は宝塔山古墳の石棺や蛇穴古墳の石室と同系統の石造技術によるものと考えられており、仏教文化と古墳文化とが併存しながら機能していた様子が窺える。

また本遺跡近郊には N-64°-E 方向に東山道(国府ルート)が、日高遺跡 [19] では幅約 4.5m の推定日高道が 国府方向へ延びると推定されている。これらは当時の交通網を物語る重要な遺構である。

当該期の一般的な集落は、古墳時代と同様に牛池川と染谷川に挟まれた台地上に立地するが、国府推定域の中心部での分布は少なく、国府域と居住域の区分けが看取できる。近年の調査による元総社蒼海遺跡群(41)では鍛冶工房が検出され、金の付着した灰釉陶器や奈良三彩といった貴重な遺物が出土している。対照的に、集落の分布は多いものの本遺跡周辺での生産遺跡の分布は希薄なものとなっている。

室町時代になると上野国守護上杉氏から守護代に任命された長尾氏が蒼海城を本拠地としこの地を治めた。元総社蒼海遺跡群では蒼海城の堀跡や、南宋~元時代の青白磁梅瓶が出土している。また本遺跡周辺には屋敷に堀を巡らした城館跡が数多く認められる。天正年間以降は諏訪・秋元氏が蒼海城に入り当地の領主となるが、秋元氏が総社城に移ると同時に蒼海城は廃城となった。また、当該期の周辺遺跡では大渡道場遺跡 [71] の貨幣埋納遺構から 572 枚に及ぶ銭貨が撚紐を通した「緡」の状態で六緡出土している。

Tab. 1 周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	調査年度	時代:主な遺構・出土遺物
	元総社蒼海遺跡群 17 街区	2015	本遺跡
	上野国分寺跡(群馬県教委)	1980 ~ 1988	奈良:金堂基壇・塔基壇
	上野国分尼寺跡	(1999)	奈良:西南隅・東南隅築垣
	山王廃寺跡	(1974)	奈良:塔心礎・根巻石・金堂基壇・講堂版築・回廊礎石
	東山道(推定)	(13/1)	水及、石矿炉 灰岩石 亚王亚亚 阿王林米 四种种石
_	日高道(推定)	_	
_	王山古墳	1972	古墳:前方後円墳(6℃中)
	蛇穴山古墳	1975	古墳:方墳(7C末)
	稲荷山古墳	1988	古墳:円墳(6C後半)
	愛宕山古墳	1996	古墳:円墳(7C後半)
-	遠見山古墳	未調査	古墳:前方後円墳(5C後半)
	総社二子山古墳	未調査	古墳:前方後円墳(6C末)
	宝塔山古墳	未調査	古墳:方墳(7C後半)
	元総社小学校校庭遺跡	1962	平安:掘立柱建物・柱穴群・周濠
\longrightarrow	在業道路東遺跡	1966	縄文:住居
	産業道路西遺跡	1900	縄文: 住居
_	中尾遺跡(群馬埋文)	1976	奈良・平安:住居
	日高遺跡(群馬埋文)	1977	弥生:水田・方形周溝墓・住居・木製農具、平安:条里制水田
_	日高遺跡(高崎市)	(1978)	
	鳥羽遺跡(群馬埋文)	1978 ~ 1983	古墳:住居・鍛冶場、奈良・平安:住居・掘立柱建物(神殿)
	正観寺遺跡 I ~Ⅳ (高崎市)	1979 ~ 1981	京集 : 住居、古墳 : 住居、奈良 · 平安 · 住居、中世 : 溝
2.1	正戰寸週時·1 ·1/ (同時刊)	1979 - 1901	縄文:住居・配石遺構、弥生:住居・方形周溝墓、古墳:住居
22	上野国分寺・尼寺中間地域 (群馬埋文)	$1980 \sim 1983$	一種
23	北原遺跡(群馬町)	1982	
	元総社明神遺跡 I ~ X Ⅲ	1982 ~ 1996	古墳:住居・水田・堀、奈良・平安:住居・溝、中世:住居・溝
-		1983	京良·平安:溝
	柿木遺跡・Ⅱ遺跡	1983 · 1988	奈良・平安:住居・溝
-	草作遺跡	1965 1966	古墳:住居、平安:住居、中世:井戸
	 	1985	古墳:住居、奈良・平安:溝
-	塚田村東遺跡 (群馬町)	1985	平安:住居
	後正間遺跡 I ~Ⅲ (群馬町)	1985 ~ 1987	古墳:住居、奈良・平安:住居、中世:道路状遺構
-	技に同遺跡 1 ~ 皿 (肝 局 叫 /) 寺田遺跡	1986	平安: 溝
_	天神遺跡·Ⅱ遺跡	1986 · 1988	十安・伊
	屋敷遺跡·Ⅱ遺跡 屋敷遺跡・Ⅱ遺跡	1986 · 1995	古墳:住居、平安:住居、中世:堀・石敷遺構
	座	1986 · 1995	古墳・住店、平女・住店、中世・堀・石駅週傳 奈良・平安:住居・溝
	大友屋敷Ⅱ・Ⅲ遺跡	1987	京良・十安・住店・併 古墳:住居、平安:住居・溝・地下式土坑
		1987	百項·住店、平安·住店・海・地下八工功 平安:水田
	村前遺跡	1987	干安・小田 平安:溝状遺構・水田
	五反田遺跡	1987	平安: 州田
	五尺田遺跡 熊野谷遺跡	1988	
	村東遺跡	1988	本文・住店、十女・住店・俳 古墳:住居・溝、奈良・平安:住居、中世:堀
_	利果遺跡昌楽寺廻向遺跡・Ⅱ遺跡	1988	古墳・住店・海、奈良・平女・住店、中世・鬼 奈良・平安:住居
-	国	1988	宗良・十女・仕店 平安:住居
-		1988 ~ 1991	平安 · 住店 古墳 : 水田 · 溝、奈良 · 平安 : 住居、中世 : 溝
		_	
	熊野谷Ⅱ・Ⅲ遺跡 弥勒遺跡・Ⅱ遺跡	1989 1989 · 1995	平安:住居 古墳:住居、平安:住居
-			
	国分境遺跡(群馬埋文) 国分境Ⅱ遺跡	1990 1991	古墳: 住居、奈良・平安: 住居 古墳: 住居、奈良・平安: 住居
1 40 1	四刀 児 11 週 即	1991	口惧・旺泊、宗民・丁女・牡店

- TT -	State 4		per (I) No. 1 Arts (Inc. 1) Arts (Inc.
番号 45	遺跡名 国分境Ⅲ遺跡(群馬町)	調査年度 1990	時代:主な遺構・出土遺物 古墳:住居、奈良・平安:住居・畠、中世:土坑墓
46	大屋敷遺跡 I ~IV	1992 ~ 2000	縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居、中世:掘立柱建物・地下式土坑・溝
47	元総社稲葉遺跡	1993	縄文:土坑、平安:住居·瓦塔
48	五反田Ⅱ遺跡	1995	平安: 水田
49	上野国分寺参道遺跡	1996	古墳:住居、平安:住居
	大友宅地添遺跡	1998	平安: 水田
	総社閑泉明神北遺跡	1999	古墳:畠・水田・溝、中世:溝
52	箱田川西遺跡 元総社西川遺跡 (群馬埋文)	1999 2000	古墳: 溝状遺構、平安: 水田 古墳: 住居・畠、奈良・平安: 住居・溝
	元総社小見遺跡	2000	縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・掘立柱建物・溝・道路状遺構
55	元総社宅地遺跡 1~23トレンチ	2000	古墳:住居、平安:住居・掘立柱建物・鍛冶場・溝・道路状遺構、中世:溝、近世:住居
56	元総社小見内皿遺跡	2001	古墳:住居・溝、奈良・平安:住居・掘立柱建物・溝、中世:掘立柱建物・溝
_	総社甲稲荷塚大道西遺跡	2001	奈良・平安:住居・溝、中世:畠、近世:溝
57	総社甲稲荷塚大道西 II 遺跡	2001	古墳:住居、奈良・平安:住居・溝、近世:溝
51	総社閑泉明神北Ⅱ遺跡	2001	古墳:住居・溝、平安:住居・溝
	元総社小見Ⅱ遺跡	2002	縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・掘立柱建物、中世:溝・道路状遺構
	元総社小見Ⅲ遺跡	2002	縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・溝、中世:溝・道路状遺構
59	元総社草作V遺跡	2002	古墳:住居、奈良・平安:住居、中世:溝
60	元総社小見内Ⅳ遺跡 総社甲稲荷塚大道西Ⅲ遺跡	2002	奈良・平安:住居・掘立柱建物・溝、中世:土坑墓 古墳:住居、奈良・平安:住居・畠・溝
61	総社開泉明神北Ⅲ遺跡	2002	
_	元総社北川遺跡(群馬埋文)	2002 ~ 2004	古墳:水田、奈良・平安:住居・畠、中近世:掘立柱建物・水田・火葬跡
	稲荷塚道東遺跡(群馬埋文)	2003	古墳:住居、奈良・平安:住居・溝・竃構築材採掘痕・井戸
64	元総社小見Ⅳ遺跡	2003	縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居、中世:溝
	元総社小見V遺跡	2003	縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居、中世:掘立柱建物
	総社甲稲荷塚大道西IV遺跡	2003	古墳:畠、中世:畠
	元総社小見内IV遺跡	2003	奈良・平安:住居・溝、中世:井戸
	元総社小見内Ⅲ遺跡	2003	縄文:住居、奈良・平安:住居・掘立柱建物、中世:畠・溝
67	元総社小見内W遺跡	2003	奈良・平安:住居・溝、中世:竪穴状遺構 郷立・住民 古博・住民 本自・巫宏・住民
64	元総社小見IX遺跡 元総社小見IX遺跡	2004	縄文:住居、古墳:住居、奈良·平安:住居 奈良·平安:住居、中世:溝
	元総社小見内IX遺跡	2004	宗良·平安·住店、中世·蔣 宗良·平安:住居、中世:溝
	元総社小見内X遺跡	2004	古墳:住居、奈良・平安:住居・工房・粘土採掘坑、中世:溝・土坑墓
61	総社閑泉明神北V遺跡	2004	古墳:水田、奈良・平安:住居
	大渡道場遺跡	2011	古墳:水田、平安:住居、中世:掘立柱建物・地下式坑・土坑墓・火葬跡・溝・竪穴状遺構
-	元総社蒼海遺跡群 (1)	2005	奈良・平安:住居・溝、中世:溝・土坑墓
-	元総社蒼海遺跡群 (2)	2005	奈良・平安:住居・溝、中世:溝・土坑墓
-	元総社蒼海遺跡群 (3) ·元総社小見Ⅲ遺跡	2005	縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居
	元総社蒼海遺跡群(4)	2005	縄文:住居、古墳:住居、奈良·平安:住居
-	元総社蒼海遺跡群 (5)	2005	古墳:住居、奈良・平安:住居・溝、中世:周溝状遺構・土坑墓
-	元総社蒼海遺跡群 (6) 元総社蒼海遺跡群 (7)	2005 2005	奈良·平安:住居·溝、中世:溝・土坑墓 奈良·平安:住居・溝
-	元総社蒼海遺跡群 (8)	2006	奈良・平安:住居
-	元総社蒼海遺跡群(9)・(10)	2006	縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・掘立柱建物・溝・土坑、中世:溝
_	元総社蒼海遺跡群 (11)	2006	古墳:住居、奈良・平安:住居、中世:道路状遺構、中世:溝
-	元総社蒼海遺跡群 (12)	2006	古墳:住居、奈良・平安:住居、中世:井戸
_	元総社蒼海遺跡群 (13)	2008	縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・工房・溝、中世:溝・土坑墓
	元総社蒼海遺跡群(14)	2008	古墳:住居・水田、奈良・平安:住居・掘立柱建物、中世:溝・竪穴状遺構・井戸
	元総社蒼海遺跡群 (15)	2008	奈良・平安:住居・溝、中世:溝
-	元総社蒼海遺跡群(16)	2008	奈良・平安:住居・畠、中世:溝 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世以降:土坑墓・井戸、不明:住居・溝
	元総社蒼海遺跡群 (17)	2008	平字: 住民
=	元総社蒼海遺跡群 (18)	2008	平安:住居 古墳:小区面水田、中世:井戸
-	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (19)	2008 2008	古墳:小区画水田、中世:井戸
-	元総社蒼海遺跡群 (18)	2008	
_ 	元総社養海遺跡群 (18) 元総社養海遺跡群 (19) 元総社養海遺跡群 (20)	2008 2008 2008	古墳: 小区画水田、中世: 井戸 古墳: 住居、奈良・平安: 住居・竪穴状遺構・溝、中世: 土坑墓・溝
_ _ _ _	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (19) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (22)	2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居
- - - - -	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (19) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (23)	2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸
- - - - - -	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (25)	2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海域の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:南宋〜元時代の青白磁梅瓶 2 個体
- - - - - - -	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (25) 元総社蒼海遺跡群 (25)	2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世: 蒼海域の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海域の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、市墳:住居、赤良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居・神、中世:南宋~元時代の青白磁梅瓶 2 個体 奈良・平安:住居・溝、中世:溝・土坑墓
- - - - - - - -	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (25) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27)	2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世: 耆海域の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海域の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居・奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居・神世:南宋〜元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居・溝、中世:溝・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構
- - - - - - - -	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (19) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (25) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (27)	2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、市墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、市墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居・中世:南宋〜元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居・溝、中世:溝・土坑。 古墳:住居、焼土遺構、古代:住居・郷立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・溝、古代:住居・駆立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構
- - - - - - - - -	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (25) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27)	2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:南宋~元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居・溝、中世:溝・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構 古墳:任居・溝、市代:住居・竪穴状遺構 古墳:平安:住居、,本古代:住居・竪穴状遺構 古墳:平安:住居、,本古代:住居・竪穴状遺構
- - - - - - - - -	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (19) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (25) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (28) 元総社蒼海遺跡群 (28)	2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、市墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、市墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居・中世:南宋〜元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居・溝、中世:溝・土坑。 古墳:住居、焼土遺構、古代:住居・郷立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・溝、古代:住居・駆立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構
- - - - - - - - - -	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (25) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (28) 元総社蒼海遺跡群 (29) 元総社蒼海遺跡群 (29)	2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世: 蒼海域の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海域の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:南宋〜元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居・溝、中世:溝・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構・古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳・任居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳・平安:住居 中近世:堀立柱建物・土坑墓・火葬跡・地下式坑・蒼海域の堀跡 古墳:住居、平安:住居、中近世:堀立柱建物・土坑墓・火葬跡・地下式坑・蒼海域の堀跡
	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (19) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (25) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (28) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (32)	2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、东良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安: 土坑、中世: 蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:南宋~元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居、神、中世:溝・土坑墓 古墳:住居、焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・横、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳・平安:住居、中近世:堀立柱建物・土坑墓・火葬跡・地下式坑・蒼海城の堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、中世・道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居、神、古代:住居・澤 中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居、中近世:堀・竪穴状遺構
	元総社耆海遺跡群 (18) 元総社耆海遺跡群 (19) 元総社耆海遺跡群 (20) 元総社耆海遺跡群 (21) 元総社耆海遺跡群 (22) 元総社耆海遺跡群 (23) 元総社耆海遺跡群 (24) 元総社耆海遺跡群 (26) 元総社耆海遺跡群 (27) 元総社耆海遺跡群 (27) 元総社耆海遺跡群 (27) 元総社耆海遺跡群 (28) 元総社耆海遺跡群 (29) 元総社耆海遺跡群 (30) 元総社耆海遺跡群 (31) 元総社耆海遺跡群 (32)	2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2010 2010 2010	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 西墳:住居、东良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:土坑、中世:着海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:南宋~元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居、神、中世:溝・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・溝、市代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・下安:住居、中世:道路状遺構・土坑墓・火葬跡・堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・直、火葬跡・堀跡 古墳:住居、中田・道路状遺構・蒼海域の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居、溝 中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居、中近世:堀・竪穴状遺構 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・溝
- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (25) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (28) 元総社蒼海遺跡群 (28) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (32) 元総社蒼海遺跡群 (34) 元総社蒼海遺跡群 (35) 元総社蒼海遺跡群 (35)	2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2010 2010 2010	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海域の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海域の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:南宋~元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居・溝、中世:溝・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳・住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳・任居、溝、古代:住居・竪穴状遺構・中世・堀 古墳・住居、溝、古代:住居・野穴状遺構・中世・堀 古墳・住居、南、守・住居、中世:道路状遺構・土坑墓・火葬跡・堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・土坑墓・火葬跡・堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・蒼海域の堀跡 古墳:住居、中世:道路大遺構・養海域の堀跡 古墳:住居、中近世:堀・竪穴状遺構
	元総社蒼海遺跡群(18) 元総社蒼海遺跡群(20) 元総社蒼海遺跡群(21) 元総社蒼海遺跡群(21) 元総社蒼海遺跡群(22) 元総社蒼海遺跡群(23) 元総社蒼海遺跡群(24) 元総社蒼海遺跡群(25) 元総社蒼海遺跡群(26) 元総社蒼海遺跡群(26) 元総社蒼海遺跡群(27) 元総社蒼海遺跡群(28) 元総社蒼海遺跡群(29) 元総社蒼海遺跡群(30) 元総社蒼海遺跡群(30) 元総社蒼海遺跡群(31) 元総社蒼海遺跡群(34) 元総社蒼海遺跡群(34) 元総社蒼海遺跡群(34) 元総社蒼海遺跡群(34) 元総社蒼海遺跡群(35) 元総社蒼海遺跡群(36) 元総社蒼海遺跡群(37)	2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2010 2010 2010 2010 2010	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居・西方墳・住居、奈良・平安:住居・古墳:住居、奈良・平安:住居・西方墳・住居、奈良・平安:住居・西墳・住居、平安・土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安・住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安・住居・中世:南宋〜元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安・住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・堀立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳・住居・中近世:堀立柱建物・土坑墓・火莽跡・地下式坑・蒼海城の堀跡 古墳:住居、中安:住居、中世:道路状遺構・道・火莽跡・堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・養海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居・溝、中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居、中近世:堀・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・掘立柱建物・畿内産土卸器、中世:土坑墓・堀 古墳:島、平安:住居・本田・鑑構築村採掘坑、中世:堀
	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (28) 元総社蒼海遺跡群 (29) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (32) 元総社蒼海遺跡群 (35) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (36)	2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、东良・平安:住居 古墳:住居、东良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、京安:中世:南宋一元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居・神、中世:南宋一元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居・溝、中世:溝・土坑墓 古墳:住居、焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・横、遺構、古代:住居・駆立柱建物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (19) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (28) 元総社蒼海遺跡群 (29) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (32) 元総社蒼海遺跡群 (32) 元総社蒼海遺跡群 (35) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (38)	2008 2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:南宋~元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居、神、中世:溝・土坑墓 古墳:住居、柴工安:住居・溝、中世:溝・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・服立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・横、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳~平安:住居、中世:道路状遺構・直・北京墓・火葬跡・地下式坑・蒼海城の堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居、神、北京墓・中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居、中近世:堀・竪穴状遺構 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・瀬立柱建物・畿内産土師器、中世:土坑墓・堀 古墳:住居、平安:住居・水田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:住居、平安:住居・ホ田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:住居、平安:住居・本土坑、中世:堀
	元総社耆海遺跡群 (18) 元総社耆海遺跡群 (19) 元総社耆海遺跡群 (20) 元総社耆海遺跡群 (21) 元総社耆海遺跡群 (22) 元総社耆海遺跡群 (23) 元総社耆海遺跡群 (24) 元総社耆海遺跡群 (26) 元総社耆海遺跡群 (27) 元総社耆海遺跡群 (27) 元総社耆海遺跡群 (27) 元総社耆海遺跡群 (27) 元総社耆海遺跡群 (27) 元総社耆海遺跡群 (30) 元総社耆海遺跡群 (30) 元総社耆海遺跡群 (30) 元総社耆海遺跡群 (31) 元総社耆海遺跡群 (32) 元総社耆海遺跡群 (34) 元総社耆海遺跡群 (35) 元総社耆海遺跡群 (36) 元総社耆海遺跡群 (37) 元総社耆海遺跡群 (37) 元総社耆海遺跡群 (38) 元総社耆海遺跡群 (39) 元総社耆海遺跡群 (39)	2008 2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:南宋~元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居、神、中世:溝・土坑墓 古墳:住居・廃土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構・中世:堀 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構・世:堀 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・土坑墓・火葬跡・堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・土坑墓・火葬跡・堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居・溝 中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居・中近世:堀・竪穴状遺構 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・溝、中世:堀 古墳:畠、平安:住居・水田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:白店、平安:住居・港、中世:堀 古墳:住居、平安:住居・港、中世:堀 古墳:住居、奈良・平安:住居・港、中世:堀
	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (19) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (28) 元総社蒼海遺跡群 (29) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (32) 元総社蒼海遺跡群 (32) 元総社蒼海遺跡群 (35) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (38)	2008 2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:南宋~元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居、神、中世:溝・土坑墓 古墳:住居、柴工安:住居・溝、中世:溝・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・服立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・横、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳~平安:住居、中世:道路状遺構・直・北京墓・火葬跡・地下式坑・蒼海城の堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居、神、北京墓・中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居、中近世:堀・竪穴状遺構 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・瀬立柱建物・畿内産土師器、中世:土坑墓・堀 古墳:住居、平安:住居・水田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:住居、平安:住居・ホ田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:住居、平安:住居・本土坑、中世:堀
	元総社耆海遺跡群(18) 元総社耆海遺跡群(20) 元総社耆海遺跡群(21) 元総社耆海遺跡群(21) 元総社耆海遺跡群(22) 元総社耆海遺跡群(23) 元総社耆海遺跡群(25) 元総社耆海遺跡群(26) 元総社耆海遺跡群(26) 元総社耆海遺跡群(27) 元総社耆海遺跡群(28) 元総社耆海遺跡群(29) 元総社耆海遺跡群(29) 元総社耆海遺跡群(30) 元総社耆海遺跡群(30) 元総社耆海遺跡群(31) 元総社耆海遺跡群(31) 元総社耆海遺跡群(32) 元総社耆海遺跡群(35) 元総社耆海遺跡群(36) 元総社耆海遺跡群(36) 元総社耆海遺跡群(37) 元総社耆海遺跡群(38) 元総社耆海遺跡群(38) 元総社耆海遺跡群(38) 元総社耆海遺跡群(39) 元総社耆海遺跡群(39) 元総社耆海遺跡群(39) 元総社耆海遺跡群(39) 元総社耆海遺跡群(39)	2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海域の組・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:土坑、中世:着海域の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:清・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・満、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・満、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・満、古代:住居・竪穴状遺構・中世:堀 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構・中世:堀 古墳:住居、平安:住居、中近:道路状遺構・土坑墓・火养跡・堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・土坑墓・火养跡・堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・蒼海域の堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・蒼海域の堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・養海域の堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・養海域の堀跡 古墳:住居、中世:道路、遺籍・著海域の堀跡 古墳:住居、中世:道路、世に・溝、田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田
	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (28) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (32) 元総社蒼海遺跡群 (34) 元総社蒼海遺跡群 (35) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (39) 元総社蒼海遺跡群 (39) 元総社蒼海遺跡群 (39) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (41)	2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、充良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安: 住居、中世:南宋・元時代の青白破梅瓶2個体 奈良・平安:住居・神、中世:溝・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・駅立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構、土坑墓・火葬跡・地下式坑・蒼海城の堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居・溝 中世:住居・竪穴状遺構 繩文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・掘立柱建物・畿内産土師器、中世:土坑墓・堀 五墳:住居、中世:道路、宋段・平安:住居・掘立柱建物・畿内産土師器、中世:土坑墓・堀 古墳:住居、平安:住居・水田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:在居、平安:住居・水田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:任居、平安:住居・北市・東上・地・地 古墳:任居、宋安:生居・北市・東上・地・堀 古墳:任居、宗良・平安:住居・土坑、中世:増 本文・任居・清、中世:堀
	元総社耆海遺跡群(18) 元総社耆海遺跡群(20) 元総社耆海遺跡群(21) 元総社耆海遺跡群(21) 元総社耆海遺跡群(22) 元総社耆海遺跡群(23) 元総社耆海遺跡群(25) 元総社耆海遺跡群(25) 元総社耆海遺跡群(26) 元総社耆海遺跡群(27) 元総社耆海遺跡群(27) 元総社耆海遺跡群(28) 元総社耆海遺跡群(29) 元総社耆海遺跡群(29) 元総社耆海遺跡群(30) 元総社耆海遺跡群(30) 元総社耆海遺跡群(31) 元総社耆海遺跡群(31) 元総社耆海遺跡群(35) 元総社耆海遺跡群(35) 元総社耆海遺跡群(35) 元総社耆海遺跡群(36) 元総社耆海遺跡群(37) 元総社耆海遺跡群(38) 元総社耆海遺跡群(39) 元総社耆海遺跡群(39) 元総社耆海遺跡群(30) 元総社耆海遺跡群(40) 元総社耆海遺跡群(40) 元総社耆海遺跡群(40) 元総社耆海遺跡群(41) 元総社耆海遺跡群(42) 元総社耆海遺跡群(43) 元総社耆海遺跡群(43) 元総社耆海遺跡群(44)	2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:南宋~元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居、神、中世:溝・土坑墓 古墳:住居・溝、古代:住居・駅穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構・中世:堀 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・土坑墓・火葬跡・地下式坑・蒼海城の堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・直珠・上坑墓・火葬跡・堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居・溝 中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居・中近世:堀 古墳:自居、平安:住居・水田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:自、平安:住居・木田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:住居、奈良・平安:住居・土坑、中世:堤 古墳:住居、奈良・平安:住居・土坑、中世:岸 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・銀冶遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・鍛冶遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・銀冶遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・銀冶遺構、中世以降:井戸
	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (29) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (34) 元総社蒼海遺跡群 (35) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (38) 元総社蒼海遺跡群 (38) 元総社蒼海遺跡群 (39) 元総社蒼海遺跡群 (40) 元総社蒼海遺跡群 (40) 元総社蒼海遺跡群 (40) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (42) 元総社蒼海遺跡群 (42) 元総社蒼海遺跡群 (43) 元総社蒼海遺跡群 (43) 元総社蒼海遺跡群 (44) 元総社蒼海遺跡群 (45)	2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、西墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:カ下型・佐居、中世:南・中世:南宋・元時代の青白磁梅瓶 2 個体 奈良・平安:住居、神世:溝・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・駅穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・平安:住居、中近世:湘立柱建物・土坑墓・火葬跡・地下式坑・蒼海城の堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居・溝・中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居、中近世:堀・竪穴状遺構 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・掘立柱建物・農内産土部器、中世:土坑墓・堀 古墳:住居、平安:住居・水田・竈構案材採掘坑、中世:堀 古墳・奈良・平安:住居・北坑、中世:堀 古墳・奈良・平安:住居・土坑、中世:増 西墳:住居、奈良・平安:住居・銀冷遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・鍛冷遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・鍛冶遺構、中世以降:井戸
	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (29) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (32) 元総社蒼海遺跡群 (34) 元総社蒼海遺跡群 (35) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (38) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (38) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (42) 元総社蒼海遺跡群 (43) 元総社蒼海遺跡群 (43) 元総社蒼海遺跡群 (43) 元総社蒼海遺跡群 (45) 元総社蒼海遺跡群 (45)	2008 2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、京安:中世:南宋一元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居、神世:溝・土坑墓 古墳:住居、栗安:住居・溝、中世:溝、土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・横土遺構、古代:住居・駅立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・神・道路状遺構・土坑墓・火葬跡・地下式坑・蒼海城の堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、赤良・平安:住居・海・中世:住居・竪穴状遺構 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・掘立柱建物・畿内産土師器、中世:土坑墓・堀 古墳:住居、中世:道路状遺構 本首本は一部、奈良・平安:住居・瀬・中世:堀 古墳:住居、安安:住居・水田・竈構築村採掘坑、中世:堀 古墳:住居、平安:住居・北坑、中世:堀 古墳:任居、平安:住居・土坑、中世:堀 古墳:任居、奈良・平安:住居・土坑、中世:増 本首、住居、奈良・平安:住居・銀冶遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・鍛冶遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、中世:堀 古墳:住居、平安:住居・東子:住居・東子:住居、京良・平安:住居・東子:住居・東子:住居・東子:住居・平安:住居、中世:堀
	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (19) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (25) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (28) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (38) 元総社蒼海遺跡群 (39) 元総社蒼海遺跡群 (40) 元総社蒼海遺跡群 (40) 元総社蒼海遺跡群 (40) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (42) 元総社蒼海遺跡群 (42) 元総社蒼海遺跡群 (44) 元総社蒼海遺跡群 (45) 元総社蒼海遺跡群 (46) 元総社蒼海遺跡群 (47)	2008 2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安: 住居、中世:南宋〜元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居、神、中世:溝・土坑墓 古墳:住居、柴大遺構、古代:住居・堀立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳・平安:住居、中近世:堀立柱建物・土坑墓・火葬跡・地下式坑・蒼海城の堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・土坑墓・火葬跡・地下式坑・蒼海城の堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居・溝 中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居、中近世:堀・竪穴状遺構 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・瀬・中世:堀 古墳・住居、平安:住居・水田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:住居、平安:住居・溝、中世:堀 古墳:住居、平安:住居・溝、中世:堀 古墳:住居、奈良・平安:住居・造、中世:堀 古墳:住居、奈良・非戸・縄文:住居、奈良・平安:住居・銀治工房、中世:掘立柱建物・道路状遺構 遺構無し 奈良・平安:住居・共坑、中世:堀・地下式坑 平安:住居、中世:堀
	元総社耆海遺跡群 (18) 元総社耆海遺跡群 (20) 元総社耆海遺跡群 (21) 元総社耆海遺跡群 (21) 元総社耆海遺跡群 (22) 元総社耆海遺跡群 (23) 元総社耆海遺跡群 (25) 元総社耆海遺跡群 (25) 元総社耆海遺跡群 (26) 元総社耆海遺跡群 (27) 元総社耆海遺跡群 (29) 元総社耆海遺跡群 (29) 元総社耆海遺跡群 (29) 元総社耆海遺跡群 (30) 元総社耆海遺跡群 (30) 元総社耆海遺跡群 (31) 元総社耆海遺跡群 (32) 元総社耆海遺跡群 (35) 元総社耆海遺跡群 (35) 元総社耆海遺跡群 (37) 元総社耆海遺跡群 (38) 元総社耆海遺跡群 (39) 元総社耆海遺跡群 (39) 元総社耆海遺跡群 (39) 元総社耆海遺跡群 (40) 元総社耆海遺跡群 (41) 元総社耆海遺跡群 (42) 元総社耆海遺跡群 (43) 元総社耆海遺跡群 (44) 元総社耆海遺跡群 (45) 元総社耆海遺跡群 (45) 元総社耆海遺跡群 (46) 元総社耆海遺跡群 (47) 元総社耆海遺跡群 (48)	2008 2008 2008 2008 2008 2008 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、中世:南宋〜元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居、神、中世:溝・土坑墓 古墳:住居・漢・古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居・溝、古代:住居・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居、平安:住居、中世:瀬立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・主坑墓・火葬跡・地下式坑・蒼海城の堀跡 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居、神 中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居、中近世:堀・竪穴状遺構 縄文:住居、克良・平安:住居、東安:住居・掘立柱建物・畿内産土師器、中世:土坑墓・堀 古墳:住居、平安:住居・赤津・中世:堀 古墳:住居、平安:住居・赤・中世:溝 古墳:住居、平安:住居・土坑、中世:溝 古墳:住居、赤良・平安:住居・超が、中世:溝 古墳:住居、赤良・平安:住居・銀治遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、古墳・奈良・平安:住居・銀治遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・銀治遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、中世:堀 古墳:住居、平安:住居 平安:住居、奈良・平安:住居・銀治道構、中世以降:井戸
	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (25) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (29) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (32) 元総社蒼海遺跡群 (34) 元総社蒼海遺跡群 (35) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (38) 元総社蒼海遺跡群 (38) 元総社蒼海遺跡群 (39) 元総社蒼海遺跡群 (40) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (42) 元総社蒼海遺跡群 (43) 元総社蒼海遺跡群 (45) 元総社蒼海遺跡群 (45) 元総社蒼海遺跡群 (46) 元総社蒼海遺跡群 (47) 元総社蒼海遺跡群 (48) 元総社蒼海遺跡群 (48) 元総社蒼海遺跡群 (48) 元総社蒼海遺跡群 (49) 元総社蒼海遺跡群 (49)	2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、赤良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:カ形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居・神・中世:南宋〜元時代の青白磁梅瓶 2 個体 奈良・平安:住居・沸、中世:清・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・神・西近世:堀立柱建物・土坑墓・火养跡・堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・着海城の堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・着海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居・溝・中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居、中近世:堀・竪穴状遺構 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・掘立柱建物・畿内産土部器、中世:土坑墓・堀 古墳:住居、平安:住居・ホー 窓構築材採掘坑、中世:堀 古墳:住居、奈良・平安:住居・北、中世:増 古墳:住居、奈良・平安:住居・満、中世:ビット・井戸 縄文:住居、古墳・奈良・平安:住居・銀治遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、古墳・奈良・平安:住居・銀治遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、市墳・年居、奈良・平安:住居・鍛冶工房、中世:堀立柱建物・道路状遺構 遺構無し 奈良・平安:住居、中世:堀 古墳:住居、平安:住居、中世:堀
	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (24) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (28) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (32) 元総社蒼海遺跡群 (34) 元総社蒼海遺跡群 (35) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (38) 元総社蒼海遺跡群 (39) 元総社蒼海遺跡群 (40) 元総社蒼海遺跡群 (40) 元総社蒼海遺跡群 (40) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (42) 元総社蒼海遺跡群 (45) 元総社蒼海遺跡群 (45) 元総社蒼海遺跡群 (46) 元総社蒼海遺跡群 (46) 元総社蒼海遺跡群 (46) 元総社蒼海遺跡群 (47) 元総社蒼海遺跡群 (48) 元総社蒼海遺跡群 (48) 元総社蒼海遺跡群 (49) 元総社蒼海遺跡群 (49) 元総社蒼海遺跡群 (49) 元総社蒼海遺跡群 (49) 元総社蒼海遺跡群 (49) 元総社蒼海遺跡群 (40)	2008 2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居・医穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:土坑、中世:南宋〜元時代の青白磁梅瓶2個体 奈良・平安:住居、神、中世:溝・土坑墓・野の大犬遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・溝、古代:住居・野穴状遺構、中世:堀 古墳:住居、平安:住居、中世:道路状遺構・道・大塚・火葬跡・堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・蒼海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居・溝・中世:住居・竪穴状遺構 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・掘立柱建物・畿内産土師器、中世:土坑墓・堀 五墳:住居、平安:住居・水田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:在居、平安:住居・水田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:住居、平安:住居・水田・竈構築材採掘坑、中世:堀 古墳:住居、下墳:住居、奈良・平安:住居・鍛冶遺構、中世以降:井戸縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・鍛冶遺構、中世以降:井戸縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・鍛冶工房、中世:堀立柱建物・道路状遺構 遺構無し 奈良・平安:住居、中世:堀 古墳:住居、平安:住居、中世:堀 中世:端・柱列・井戸 中世:溝・柱列・井戸
	元総社蒼海遺跡群 (18) 元総社蒼海遺跡群 (20) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (21) 元総社蒼海遺跡群 (22) 元総社蒼海遺跡群 (23) 元総社蒼海遺跡群 (25) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (26) 元総社蒼海遺跡群 (27) 元総社蒼海遺跡群 (29) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (30) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (31) 元総社蒼海遺跡群 (32) 元総社蒼海遺跡群 (34) 元総社蒼海遺跡群 (35) 元総社蒼海遺跡群 (36) 元総社蒼海遺跡群 (37) 元総社蒼海遺跡群 (38) 元総社蒼海遺跡群 (38) 元総社蒼海遺跡群 (39) 元総社蒼海遺跡群 (40) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (41) 元総社蒼海遺跡群 (42) 元総社蒼海遺跡群 (43) 元総社蒼海遺跡群 (45) 元総社蒼海遺跡群 (45) 元総社蒼海遺跡群 (46) 元総社蒼海遺跡群 (47) 元総社蒼海遺跡群 (48) 元総社蒼海遺跡群 (48) 元総社蒼海遺跡群 (48) 元総社蒼海遺跡群 (49) 元総社蒼海遺跡群 (49)	2008 2008 2008 2008 2009 2009 2009 2009	古墳:小区画水田、中世:井戸 古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構・溝、中世:土坑墓・溝 中世:蒼海城の堀・盛土状遺構 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、奈良・平安:住居 古墳:住居、平安:土坑、中世:蒼海城の堀 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:方形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居、赤良・平安:住居・竪穴状遺構、中世:カ形竪穴・井戸 古墳:住居、平安:住居・神・中世:南宋〜元時代の青白磁梅瓶 2 個体 奈良・平安:住居・沸、中世:清・土坑墓 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・焼土遺構、古代:住居・掘立柱建物・竪穴状遺構、中世:堀・竪穴状遺構 古墳:住居・神・西近世:堀立柱建物・土坑墓・火养跡・堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・着海城の堀跡 古墳:住居、中世:道路状遺構・着海城の堀跡 古墳:住居、奈良・平安:住居・溝・中世:住居・竪穴状遺構・道・井戸 奈良・平安:住居、中近世:堀・竪穴状遺構 縄文:住居、古墳:住居、奈良・平安:住居・掘立柱建物・畿内産土部器、中世:土坑墓・堀 古墳:住居、平安:住居・ホー 窓構築材採掘坑、中世:堀 古墳:住居、奈良・平安:住居・北、中世:増 古墳:住居、奈良・平安:住居・満、中世:ビット・井戸 縄文:住居、古墳・奈良・平安:住居・銀治遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、古墳・奈良・平安:住居・銀治遺構、中世以降:井戸 縄文:住居、市墳・年居、奈良・平安:住居・鍛冶工房、中世:堀立柱建物・道路状遺構 遺構無し 奈良・平安:住居、中世:堀 古墳:住居、平安:住居、中世:堀

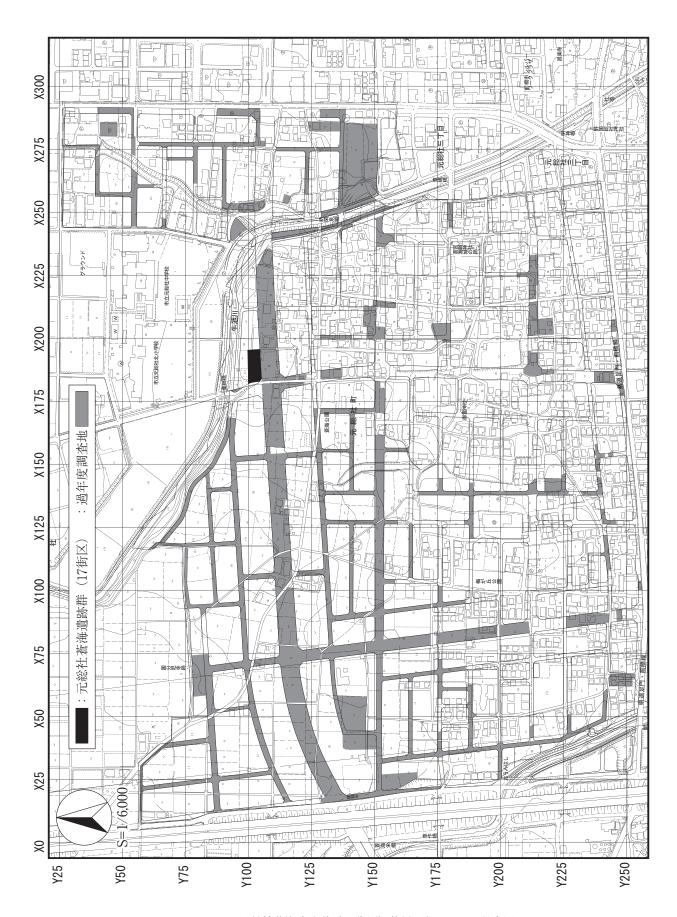


Fig. 3 元総社蒼海遺跡群 (17 街区) 位置図とグリッド設定図

Ⅲ 調査の方針と経過

1 調査範囲と基本方針

発掘調査は、遺構確認面まで重機 (0.45 バックホー) による表土掘削を行ない、遺構確認・遺構掘削・遺構精査・測量・写真撮影の手順で実施した。

遺構の記録は、基本的に図面作成をトータルステーション・電子平板を用いて測量及び編集を行い、断面図は一部オルソーフォトに変換して編集を行った。記録写真は、35mm モノクロ・35mm カラーリバーサル・デジタルカメラの3種類を用いて撮影し、調査区全景写真は空撮を1回実施した。

2 調査経過

発掘調査は、平成27年6月26日に草刈りを行い、同年6月29日に調査区Ⅲ及び調査区Ⅳの表土掘削を実施した。同様に、同年6月30日から7月6日まで調査区Ⅱ及び調査区Ⅰの表土掘削を実施した。表土掘削以降、順次調査をすすめ、同年8月12日にラジコンへリによる調査区全景撮影を実施した。その後、8月21日までに埋め戻し及び撤収作業を完了し、現地での発掘調査を終了した。8月24日より本格的に出土遺物・図面・写真等の整理作業及び報告書作成を実施した。

IV 基本層序

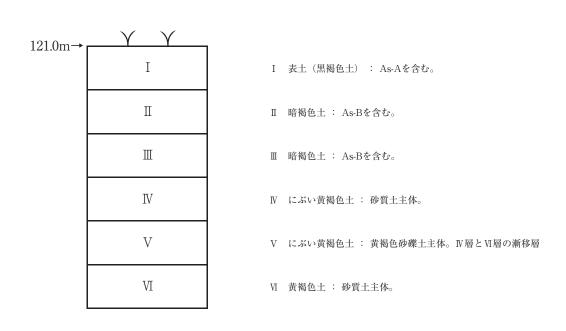


Fig. 4 基本層序

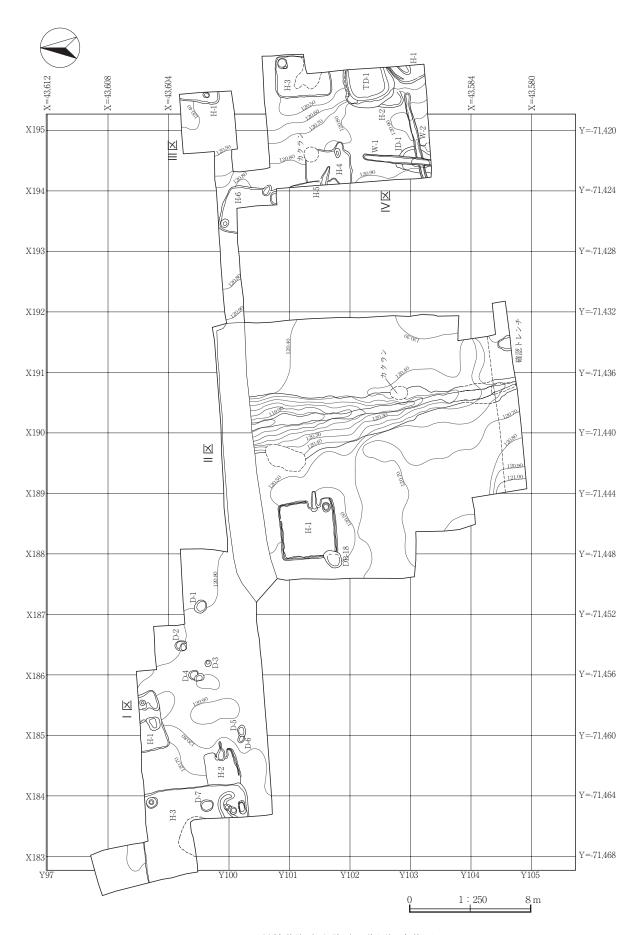


Fig. 5 元総社蒼海遺跡群(17 街区)全体図

V 遺構と遺物

1 1区

I区は、ガソリンスタンド建設部の内、給油管敷設部・地下タンク部にあたる。前橋市教育委員会による試掘では、住居 1.5 軒と土坑 1 基が想定された。発掘調査の結果、本区では、竪穴住居 3 軒・土坑 7 基が検出された。なお、当初、本区南部が調査された際に元総社小見内皿遺跡 6 区及び同遺跡の南部の元総社蒼海遺跡(32) 2 区で検出された南北に走行するW -1 (溝)が本遺跡でも検出されると想定されたが、同溝の東側がわずかに約 10cm かかっていた程度であった。主体部は、西側の調査区外にあると推定される。

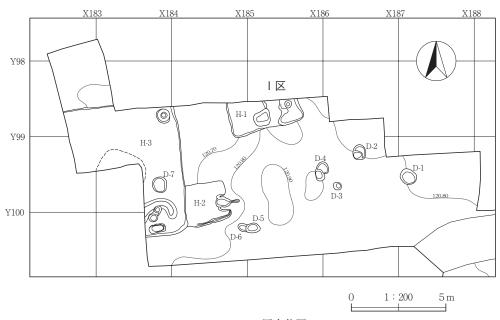


Fig. 6 I 区全体図

(1) 竪穴住居

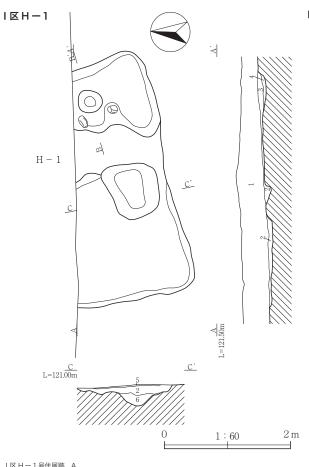
竪穴住居は、H-1号からH-3号まで3軒が検出された。しかしながら、確認面までは浅く、上部はかなり 削平されている状態である。

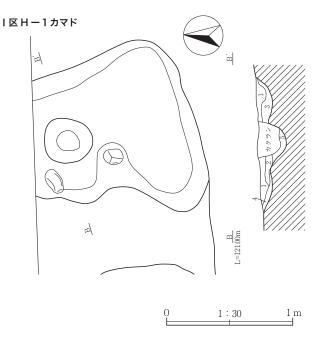
H-1号住居(Fig. 7・PL. 1)

位置 X184·185、Y98·99 規模 東西 (3.8m)、南北 (1.8) m、壁現高 $0.1 \sim 0.15$ m。住居の南部約 1/2 が検出されている。 面積 5.77 ㎡。 床面 締まりやや強い。 重複 認められない。 カマド 住居の東側に検出された。 貯蔵穴 検出されず。 柱穴 検出されず。ただ、用途不明土坑が住居南部に検出された。出土遺物 覆土中より土師器坏及び甕が検出されたが、いずれも破片で掲載せず。 時期 出土遺物の傾向から 6 世紀後半と推定される。

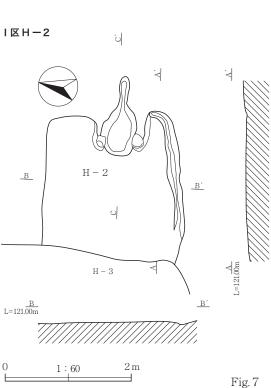
H-2号住居(Fig. 7・PL. 1)

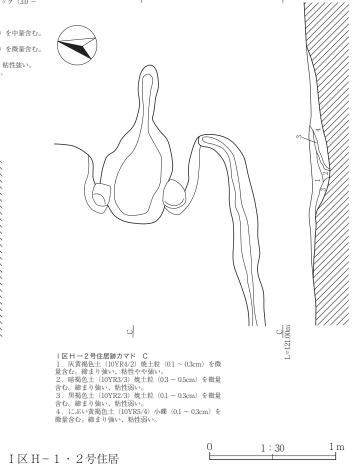
位置 X184、Y99・100 規模 東西 (2.1) m、南北 (2.2) m、壁現高 0.1 ~ 0.15m。 面積 4.78 m。 重複 西部で一部H - 3 号住居と重複が認められた。 カマド 住居の東側に検出された。 貯蔵穴 検出されず。 柱穴 検出されず。 出土遺物 覆土中より土師器坏・土師器瓶・土師器甕・土師器小壺が検出された。これらの内、比較的残存状態が良い土師器坏を図化した。 時期 出土遺物の傾向から7世紀と推定される。





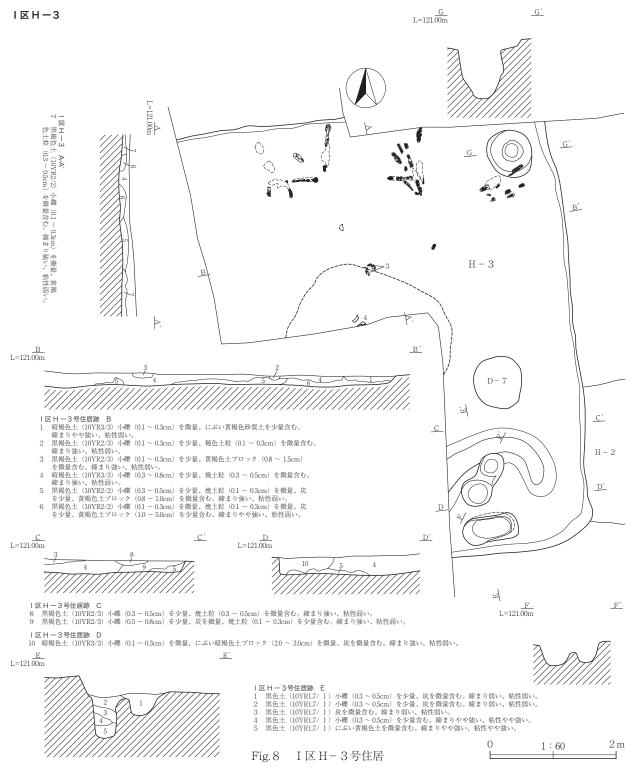
- I 区 H − 1 号住居跡 A 5 黒褐色土 (10YR2/3) 黄褐色土ブロック (3.0 ~ 5.0cm) を微量含む。締まりやや弱い、粘性弱い。 **I 区 H − 2 カマド** 6 黒褐色土 (10YR2/3) 褐色土ブロック (3.0 ~ 5.0cm) を少量、にぶい黄褐色土ブロック (3.0 ~ 5.0cm) を俊量。締まりやや強い、粘性弱い。





H-3号住居(Fig. 6・8、PL. 1)

位置 X182·183·184、Y99·100 規模 東西 5.95m、南北 7.0m、壁現高 0.1m。住居の南西部を除く約 3/4 が 床面 比較的平坦で締まりは弱い。 重複 認められない。 炉 炉周 検出されている。 面積 26.33 m² 辺は検出されたが、主体部は調査区外。 貯蔵穴 住居の南東部で検出されて。 柱穴 住居の北東部で検出さ れた。 出土遺物 覆土中より須恵器甕・須恵器模倣坏・土師器坏・土師器壺・土師器小壺が検出された。これ らの内、比較的残存状態が良い台付甕・土師器坏・土師器壺・土師器小壺を図化した。 特記事項 本住居の北 東部から焼失した建築部材が検出されている。状況から、焼失住居であると推定される。 時期 出土遺物の傾 向から4世紀末~5世紀初頭と推定される。



(2) 土坑

土坑が7基検出された。出土遺物がなく、時期の特定はできなかった。その他の土坑も検出されたが、覆土中 にプラスチック片等現代の遺物が含まれていたり、土坑底面に重機の爪跡が検出されたりして現代の攪乱と推定 I区D-1 \ されるものも検出されている。それらの現代の攪乱は除外した。

D-1号土坑(Fig. 6・9)

位置 X187·Y99 形状 隅丸方形 規模 長軸 0.88m・短軸 0.74m・深さ 0.4m 重複 無し

D-2号土坑(Fig. 6・9)

X186·Y99 形状 隅丸方形 規模 長軸 0.78m・短軸 0.66m・深さ 0.44m 重複 無し

D-3号土坑(Fig. 6・9)

位置 X186·Y99 形状 円形 規模 直径 0.42m・深さ 0.3m 重複 無

D-4号土坑(Fig. 6・9)

位置 X185・Y99 形状 円形? 規模 長軸 1.0m・短軸 0.68m・深さ 0.5m 重複 2基の土坑が重複

D-5号土坑(Fig. 6・9)

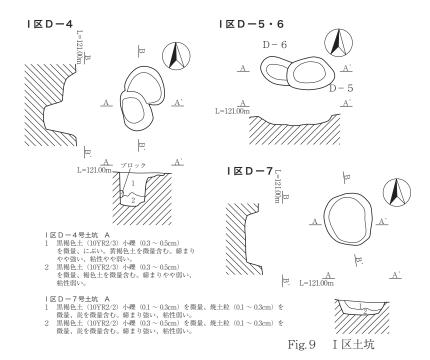
位置 X185·Y100 形状 楕円形 規模 長軸 0.76m・短軸 0.5m・深さ 0.14m 重複 D-6と重複。新旧完形はD-5の方が新しい

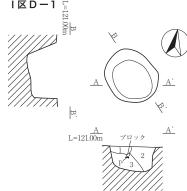
D-6号土坑(Fig. 6・9)

位置 X184·Y100 形状 楕円形? 規模 長軸(0.42m)・短軸 0.4m・ 深さ 0.14m 重複 D-5と重複。新旧完形はD-6の方が古い

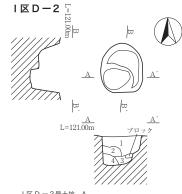
D-7号土坑(Fig. 6・9)

位置 X184・Y99 形状 円形 規模 直径 0.76m ~ 0.8m・深さ 0.7m

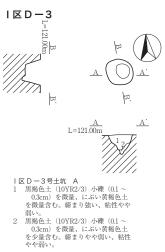


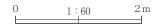


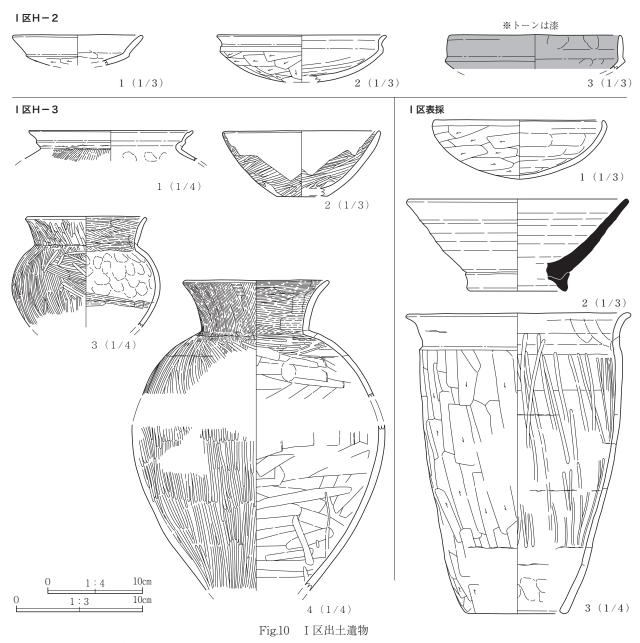
- I 区 D − 1 号土坑 A 1 黒褐色土 (10YR2/2) 小礫 (0.3 ~ 0.5cm) を微量、褐色土ブロック (0.5 ~ 0.8cm) を微量含む。締まりやや強い、粘 性やや弱い。
- 性やや弱い。 黒褐色土 (10YR2/3) 小碟 (0.3 ~ 0.5cm) を微量、褐色土粒 (0.1 ~ 0.3cm) を微量含む。締まりやや強い、粘 性やや弱い。 黒褐色土 (10YR2/3) 小碟 (0.1 ~ 0.3cm) を微量、褐色土を微量含む。締まりやや弱い、 粘性やや弱い、



- | 区 D − 2 号土坑 A 1 黒褐色土 (10 Y R2/3) 小碟 (0.1 ~ 0.3 cm) を微量含む。締まりやや強い、粘性やや弱い。 2 黒褐色土 (10 Y R2/2) 小碟 (0.1 ~ 0.3 cm) を微量含む。締まりやや強い、粘性やや弱い。 ・暗褐色土 (10 Y R3/3) 小碟 (0.1 ~ 0.3 cm) を微量、褐色土を少量含む。締まりやや弱い、 **性を必得い。
- 福祉 (1998年) 小礫 (01~0.3cm) を微量、褐色土を微量含む。締まりやや弱い、 粘性やや弱い







Tab 2. I区出土遺物観察表

種別・器種 口径 (cm) 底径 (cm) 高さ (cm)

	I	区	Н	_	2
--	---	---	---	---	---

出土1位直	俚別・奋悝	山往 (CIII)	低径 (CIII)	高さ (CIII)	胎工	焼风	巴調	・	
No.3-1(覆土)	土師器 坏	[13.2]	-	(3.8)	白色粒 雲母含む	良好	赤褐色 5YR 4/6	外面:口縁部・ヨコナデ 以下ヘラケズリ 内面:口縁部・ヨコナデ 以下ユビナデ	1/4 残存
No.3-2(覆土)	土師器 坏	[13.5]	-	(3.2)	雲母含む	良好	橙色 7.5YR 6/6	外面:口縁部・ヨコナデ 以下ヘラケズリ 内面:口縁部・ヨコナデ 以下ユビナデ	破片
No.3-3(覆土)	土師器 坏	[10.0]	-	(2.4)	雲母含む	良好	赤褐色 5YR 6/6	外面:口縁部・ヨコナデ 以下ヘラケズリ 内面:口縁部・ヨコナデ 以下ユビナデ	1/4 残存
H-3									
出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
覆土	S字甕	[17.2]	-	(3.2)	白色粒を含む	良好	にぶい黄色 2.5Y 6/3	外面:口縁部ヨコナデ 以下ユビナデ 内面:口縁部ヨコナデ 以下ユビオサエ	破片
覆土	土師器 坏	[12.2]	[3.9]	5.2	茶色粒を含む	良好	明褐色 7.5YR 5/6	外面:ミガキ 内面:ミガキ	1/4 残存
ビット No.2	土師器 小壺	12.5	-	(11.7)	雲母を含む	良好	明褐色 7.5RR 5/6	外面:口縁部〜胴下部ハケナデ 内面:口縁部ハケナデ 胴上部ユビオサエ以下ユビナデ 一部ハケナデ	1/3 残存
ビット No.3	土師器 壺	15.1	-	[32.8]	自色粒 茶色粒を含む	良好	明褐色 7.5RR 5/6	外面:口縁部ハケナデ 以下ミガキ 内面:口縁部ハケナデ 肩部ミガキ 以下ヘラナデ 後ユビナデ	1/3 残存
表面採集									
出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
表面採集1・2	土師器 坏	13.3	-	4.8	自色粒 雲母を含む	良好	明褐色 7.5YR 5/6	外面: 口縁部ヨコナデ 以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ 以下ユビナデ	2/3 残存
表面採集6	須恵器 高台付坏	[17.2]	[7.6]	7.3	白色粒を含む	良好	灰オリーブ色 5Y 6/2	外面: 口縁部ヨコナデ 以下ハケナデ 内面: 口縁部ヨコナデ 以下ユビオサエ	1/4 残存
表面採集3	土師器 甑	23.3	10.2	31.8	白色粒 雲母服を	良好	橙色 7.5YR 6/6	外面:口縁部ヨコナデ 以下ヘラケズリ 内面:口縁部ヨコナデ 以下ナデ後ミガキ	2/3 残存
	No.3-1(覆土) No.3-2(覆土) No.3-3(覆土) H-3 出土位置 覆土 ビットNo.2 ビットNo.3 表面採集 出土位置 表面採集1・2 表面採集6	No.3-1(覆土) 土師器 坏 No.3-2(覆土) 土師器 坏 No.3-3(覆土) 土師器 坏 H - 3 種別・器種 覆土 S字甕 覆土 土師器 小壺 ビット No.2 土師器 壺 セット No.3 土師器 壺 表面採集 土師器 坏 表面採集6 直台付坏 表面採集2 土師器 本面採集6 直台付坏 土師器 土師器	No.3-1(覆土)	No.3-1(覆土) 土師器 [13.2] - No.3-2(覆土)	No.3-1(覆土) 土師器 [13.2] - (3.8)	No.3-1(覆土) 土師器 [13.2] - (3.8) 自色粒 雲母含む 上師器 [13.5] - (3.2) 雲母含む 上師器 [13.5] - (3.2) 雲母含む 上師器 [10.0] - (2.4) 雲母含む 上師器 [10.0] - (2.4) 雲母含む 上師器 上師器 [17.2] - (3.2) 自色粒を含む 上師器 上師器 上部器 上部 上部	No.3-1(覆土) 土師器	No.3-1(覆土)	No.3-1(覆土) 土師器

器形、成・整形、文様等の特徴

残存状況・備考

2 ||区

Ⅱ区は、ガソリンスタンド建設部の内、給油管敷設部及びキャノピー部にあたる。前橋市教育委員会による試 掘では、住居4軒・土坑3基・溝1条・道路1条が想定された。但し、本区には元々現代の住居が建っており、 住居の基礎構築の際、また、住居に伴う土管や水道管敷設の際に上面が削平あるいは攪乱を受けていた。本区で は、1面の中世面と2面の古代面とに分かれる。2面の古代面では、住居1軒・道1条・道下土坑4基が検出さ れた。1面の中世面は、試掘では検出されなかった中世墓群が発掘区の中央部より検出された。土坑墓25基・ 火葬跡3基・土坑9基が検出されている。この中世墓群は、25基が検出されており群馬県内でも有数のもので ある。元総社蒼海遺跡群としては、元総社蒼海遺跡群(5)で、土坑墓70基・火葬跡2基の合計72基が検出さ れている。

[2面:古代面]

2面の古代面では、住居(H)1軒・道(R)1条・道下土坑(R-1下)4基が検出された。また、R-1 の状況を確認するため、調査区南の調査区外域に確認トレンチを入れ、道1条と土坑1基を検出した。

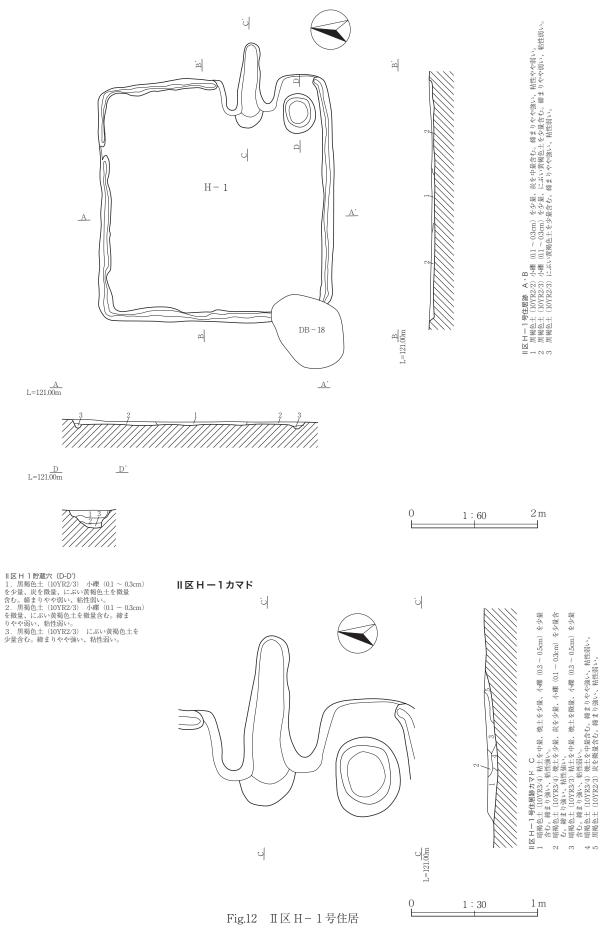
(1)竪穴住居

H-1号住居(Fig.11・12・PL.2)

位置 X187·188·189、Y100·101 規模 東西5.75m、南北5.6m、壁現高0.1m。住居の全面が検出されている。 床面 締まりやや弱い。 重複 住居の南西部隅で、中世の土坑墓DB-18と重複している。 新旧完形は、本住居の方が古い。 カマド 東側に検出されている。 貯蔵穴 カマドの南、住居の南東隅で検 出されている。 柱穴 検出されず。但し、住居の四辺に周溝が検出されている。 出土遺物 住居の覆土から、 S字状口縁台付甕(S字甕)・土師器甕が、貯蔵穴から土師器甕が検出されている。但し、いずれも破片である ため図化せず。 時期 時期の特定には至らなかった。



Fig.11 Ⅱ区2面全体図

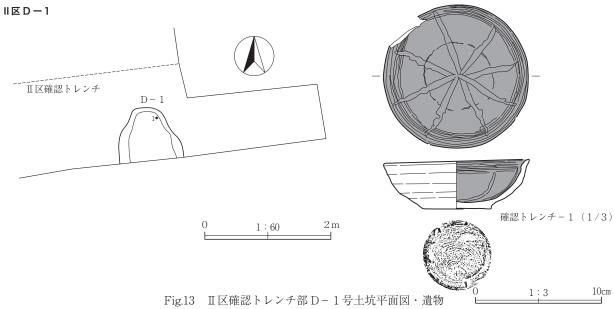


(2) 土坑:確認トレンチ部

確認トレンチ部では、古代面で土坑1基が確認された。なお、本Ⅱ区では、R-1下土坑が4基検出されている。

D-1号土坑(Fig.11・13・、PL.3)

位置 X191·Y104 形状 南部が調査区外であるため、全容は不明。 規模 長軸 [南北] (0.55m) 短軸 [東西] 0.6m 深さ 0.12m 遺物 土師質坏 1 点が検出されている。



Tab.3 Ⅱ 区確認トレンチ部 D - 1 号土坑出土遺物観察表 || 区確認トレンチD - 1

No	出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考			
1	確認トレンチ D-1	土師質 坏	11.4	5.4	3.8	緻密	良好	橙 7.5YR 7/6	外面:口縁部ヨコナデ ロクロ回転 底部糸切 内面:黒色処理 暗文	ほぼ完形			

(3) 道 (Fig.11·14·15·16·17·18、PL.2·3·4·5)

位置 X189·190、Y100·101·102·103·104 規模 長さ16.35m (調査区内)・17.85m (確認トレンチ部を含む)・ 19.85m (北部トレンチ部を含む) 、幅 0.8m ~ 4.0m 形状 確認トレンチ部はほぼ平坦である。調査区内の道 路面は周辺部の地表から掘りこまれており、南から北へ緩やかに傾斜している。所謂、切通道である。恐らく、 北部に位置する牛池川に続くものと推定される。 硬化面 往来した道の路面部の中央に、幅 0.1m ~ 0.8m で 認められた。 重複 重複は、認められなかった。 出土遺物 土師器坏・高台付埦・甕、須恵器坏・甕等が検 出されている。土師器坏を掲載した。 掘り方 道の硬化面下部には、直径2~3cm の砂利が敷き詰められて おり、さらに、道下土坑が4基検出された。 時期 本Ⅱ区の上面には、中世の土坑墓25基・火葬跡3基・土 坑9基が検出されている。したがって、中世には道はすでに埋没し、墓域を形成していた事を物語る。北部の土 層断面を観察すると、As-B(浅間 B 軽石)軽石がレンズ状に堆積しており、少なくとも平安後期(嘉承3年~ 天仁元年)の1108年以後は道として使用されていなかった事が確かである。また、8世紀前半と推定される土 師器坏が検出されている。但し、全国で検出されている道跡では、道を補修した際に土器片が紛れ込むことが知 られているため、この土器をもって年代を確定することはできない。本区南部に位置する『元総社小見内Ⅲ遺跡』 の6区では、上面に中世火葬跡7基・近世土坑墓8基が検出されているが、残念ながら、道跡は報告されていな い。この元総社小見内Ⅲ遺跡のさらに南部に位置する『元総社蒼海遺跡群(30)』で検出されたA-1は、本Rー 1に続くと推定されるが、H-4住居と重複している。この住居の時期は7世紀以降と推定されており、時期は 溝との関係からH-4埋没後の7世紀後半から中世と推定されている。なお、このA-1には左右に溝が検出さ れているが、北部で途切れている。総合的に、時期は、7世紀後半以降~1108年までと推定される。

硬化面包

2m

1:80

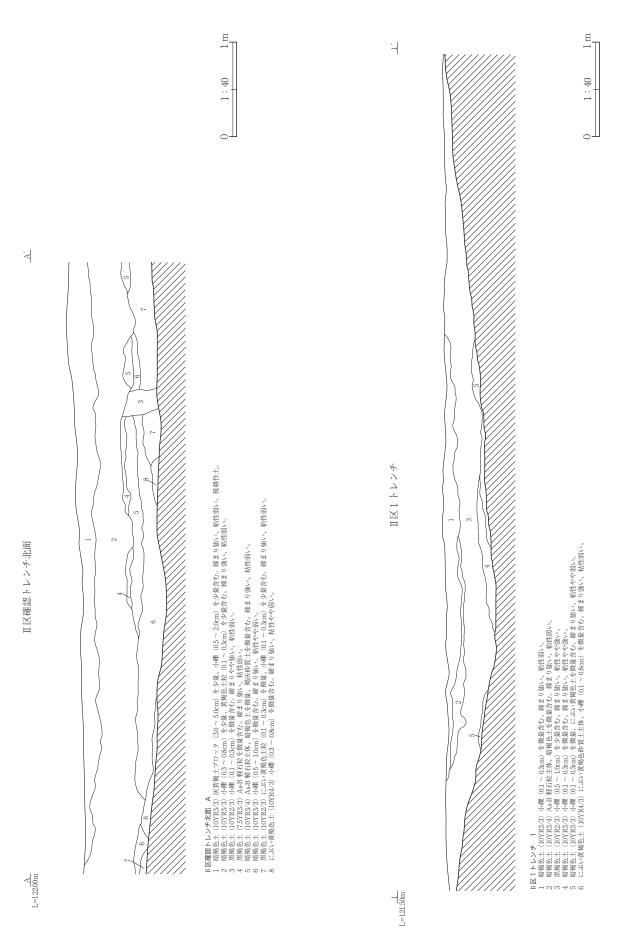


Fig.15 II 区セクション (1)

1:40

| 1870 | 1970 | 1984 | 1982 | 1984 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 | 1985 |

브

Ⅱ区セクション(2) Fig.16

II 区2トレンチ

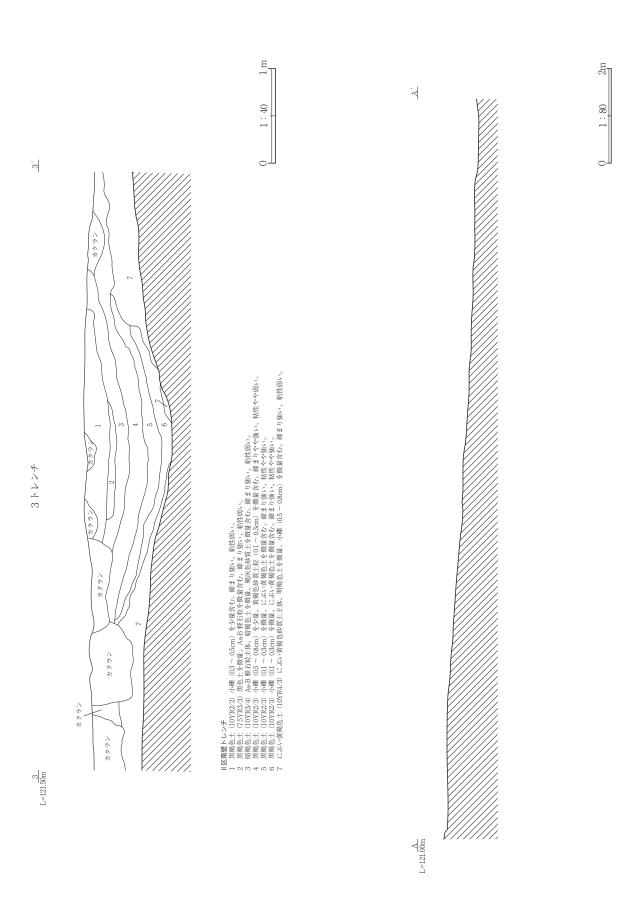


Fig.17 II 区セクション (3)

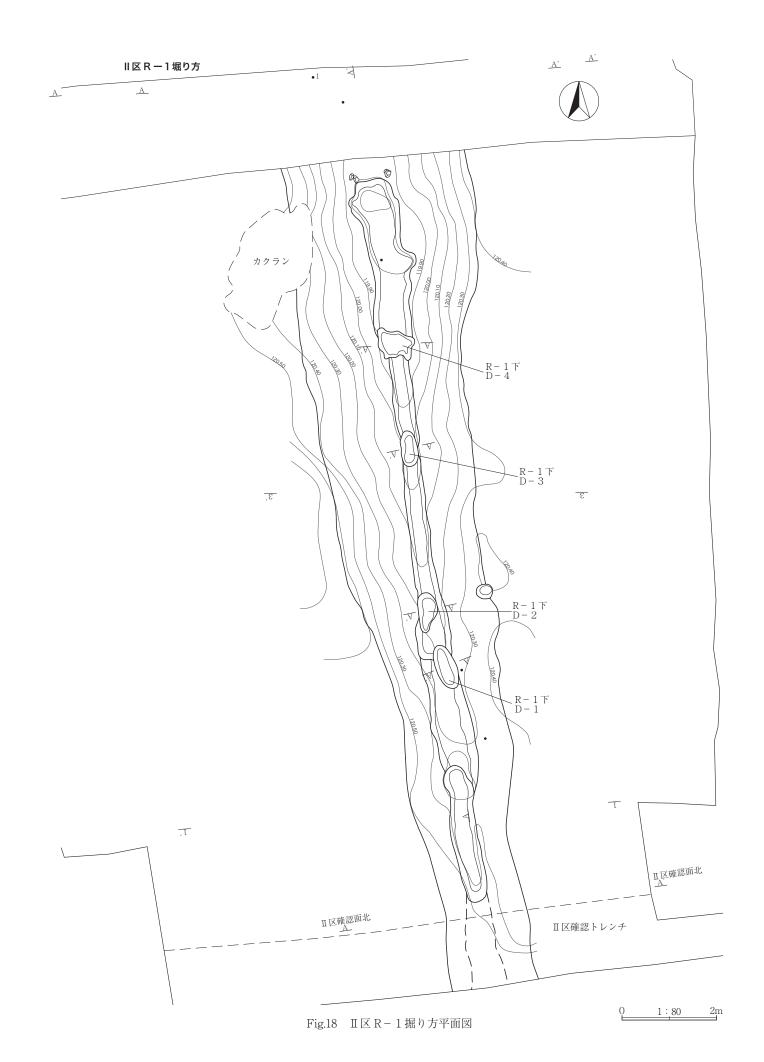




Fig.19 II区R-1出土遺物

Tab. 4 Ⅱ区R-1出土遺物観察表 II⊠R-1

1	No	出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
	1	P 1	土師質 坏	12.4	-	3.2	微細砂	良好	橙 7.5YR 6/8	外面:口縁部ヨコナデ 以下、ハラケズリ 内面:口縁部ヨコナデ 以下、ヨコナデ	1/7

(4) 道下土坑

R-1の路面下から、道下土坑 (R-1 TD) が 4 基検出された。いずれも、上層では約1cm~3cmの礫が検出されており、道を補強する目的、あるいは、ぬかるんで補修した痕跡であると推定される。いずれも、重 複は認められず遺物は検出されなかった。なお、断面は南側ではなく北側をとっている。

R-1FD-1 (Fig. 18 · 20, PL. 5)

位置 X190·Y102·103 形状 楕円形 規模 長軸[南北] 1 m·短軸[東西] 0.44m

R-1 + D-2 (Fig. 18 · 20, PL. 5)

位置 X190・Y102 形状 不整楕円形 規模 長軸 [南北] 0.84m・短軸 [東西] 0.4m

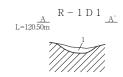
R-1FD-3 (Fig. 18 · 20, PL. 5)

位置 X190·Y101·102 形状 楕円形 規模 長軸 [南北] 0.76m·短軸 [東西] 0.34m

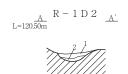
R-1FD-4 (Fig. 18 · 20, PL. 5)

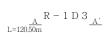
位置 X190·Y101 形状 不整形 規模 長軸 [南北] 0.8m·短軸 [東西] 0.5m

II区R-1下D-1~4



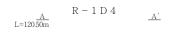
|| 区 R - 1 下 D - 1 A 1 黒褐色土 (10YR2/3) 小礫 $(0.1\sim0.3{\rm cm})$ を微量、黄褐色土粒 $(0.1\sim0.3{\rm cm})$ を微量含む。締まり強い、粘性弱い。







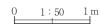
II 区 R − 1 下 D − 3 A
 1 黒褐色土 (10YR2/3) 小礫 (0.1 ~ 0.3cm) を微量、黄褐色土粒 (0.1 ~ 0.3cm) を微量をむ。締まり強い、粘性弱い。





Ⅱ区R-1下D-4 A 1 黒褐色土 (10YR2/3) 小碟 (0.1 ~ 0.3cm) を微量、黄褐色土粒 (0.1 ~ 0.3cm) を微量含む。総まり強い、粘性弱い。 2 黒褐色土 (10YR2/3) 小碟 (0.1 ~ 0.3cm) を微量、黄褐色土粒 (0.1 ~ 0.3cm) を微量、にぶい黄褐色砂質土を微量含む。総まり強い、粘性弱い。

Fig.20 Ⅱ区 R-1下土坑セクション

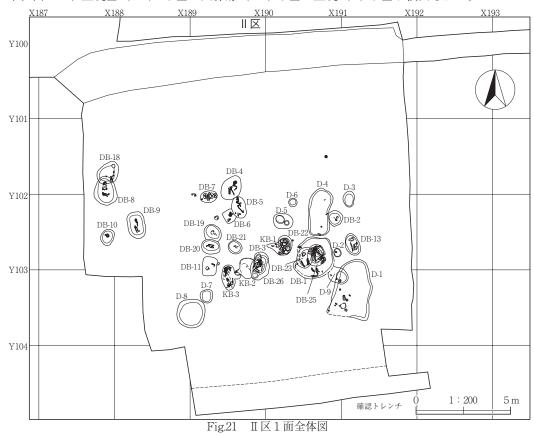


10cm

1:3

[1面:中世面]

1面の中世面では、土坑墓 (DB) 25基・火葬跡 (KB) 3基・土坑 (D) 9基が検出された。



(1) 土坑墓(Fig.21 ~ 25、PL. 6・7・8)

土坑墓は 25 基検出され、1 基に 1 体ずつ人骨あるいは獣骨が検出された。但し、II 区の北部において重機掘削中に検出された土坑墓は、工程上、形を記録せず骨だけを取り上げ、中心部で点を記録したのみにとどめた。これらは、DB - 14 \sim DB - 17 0 4 基である。土坑墓は、重複も多く、集中しているため、当時、墓域を形成していたと推定される。時期は、副葬品の銭貨から、中世であると推定される。実際、寛永通宝は、1 点も認められなかった。明治初年の地図には、この発掘区内に「阿弥陀寺」の存在が確認されたため、この同寺に伴う墓域である可能性が高い。

(2) 火葬跡 (Fig.21 ~ 24、PL.6·7·8)

火葬跡は、3基検出された。略称は、土坑墓(DB)に合わせて KB(火葬墓)としたが、実際は、火葬墓ではなく、火葬跡である。時期は、副葬品の銭貨や土器から、土坑墓と同様に中世であると推定される。実際、寛永通宝は、1点も認められなかった。

(3) 土坑(Fig.21 ~ 22·24、PL.6·7·8)

土坑は、9基が検出された。この内、1基からは、馬歯が検出された。このD-1は馬頭観音かもしれない。

(4) 確認トレンチ

1号道(R-1)がどのような形態で続いているのかを確認するために、調査区外であるが、前橋市教育委員会の許可を得て南部に確認トレンチを入れた。この確認トレンチの掘削時に1基、近世墓を確認した。但し、工程上、土坑墓の形を記録せずに人骨だけを取り上げた。現地での確認で、被葬者は、座葬で埋葬されていた事が確認されたため、副葬品は検出されなかったが、近世人骨と認定した。この確認トレンチ部のすぐ南は、元総社小見内皿遺跡として 2001 年~ 2002 年に調査が行われており、近世土坑墓 8 基と火葬跡 7 基がある程度集中して検出されている(前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2001)。

土坑墓 (DB)・火葬跡 (KB)・土坑 (D) 等の出土人骨及び出土獣骨の詳細な記載は、頁数の制限があるため、以下のような一覧表にまとめた。機会を改めて、詳細な報告を行いたい。

Tab. 5 Ⅱ区土坑墓・火葬跡・土坑まとめ表

土坑墓	形状	夫	規模(m)			重複	副葬品	埋葬状	態			被葬者	
No	T54A	長軸	短軸	深さ	遺構名	新旧	副郛吅	埋葬状態	頭位	個体数	性別	死亡年齢	備考
DB-1	不整円形	古久	約 2.0	0.5	D9	DB1>D9	板碑	不明	不明	2個体	우	約3歳	_
DD-1	小室口ル	担(注)	ポリ 2.0	0.5	Da DRI>Da		五輪塔	屈葬?	不明	2 四平	3	成人	_
DB-2	不整円形	直径	約 0.8	0.28	D4 DB2>D4		-	不明	不明	1個体	不明	約2歳	_
DB-3	楕円形	0.74	0.36	0.24		無し	カワラケ	不明	不明	1個体	不明	約 40 歳代	_
DB-4	楕円形	1.36	1.0	0.1		無し	銭貨2点	右下横臥屈葬	北北西	1個体	우	約 40 ~ 50 歳代	齲触(虫歯)
DB-5	楕円形	1.14	0.73	_	DB6	DB5>DB6	無し	右下横臥屈葬	北	1個体	8	約 40 歳代	齲触 (虫歯)
DB-6	方形	長辺	0.68	-	DB5	DB6 <db5< td=""><td>無し</td><td>不明</td><td>不明</td><td>1個体</td><td>우</td><td>約20~30歳代</td><td>_</td></db5<>	無し	不明	不明	1個体	우	約20~30歳代	_
DB-7	楕円形	0.9	0.62	-		無し	無し	不明	不明	1個体	우	約3歳	_
DB-8	不整楕円形	1.52	1.16	0.22	DB18	DB8>DB18	銭貨6点	右下横臥屈葬	北	1個体	우	約 40 歳代	齲触 (虫歯)
DB-9	楕円形	1.42	0.91	0.16		無し	カワラケ1点 銭貨1点	右下横臥屈葬	北	1個体	우	約 20 歳代	_
DB-10	楕円形	0.86	0.68	0.24		無し	銭貨5点	頭部のみ	不明	1個体	3	約 30 歳代	-
DB-11	隅丸長方形	0.98	0.72	-		無し	無し	屈葬?	南西	1 個体	3	成人	_
DB-12	楕円形	-	-	_	DB26	DB12>DB26	カワラケ2点	不明	不明	1 個体	3	成人	-
DB-13	楕円形	1.18	0.74	0.32		無し	無し	仰臥屈葬	北北西	1個体	8	約 30 ~ 40 歳代	_
DB-14	点上げ	-	_	_		無し	無し	不明	不明	1個体	馬歯		_
DB-15	点上げ	-	_	_		無し	無し	不明	不明	1 個体	馬歯		_
DB-16	点上げ	-	-	-		無し	無し	不明	不明	1 個体		馬歯	_
DB-17	点上げ	_	-	-		無し	無し	不明	不明	1個体		馬歯	_
DB-18	不整楕円形	1.31	1.0	0.18	H1	DB18>H1	無し	不明	北	1個体	3	約 40 歳代	生前脱落
DB-19	不整円形	1.0	0.9	0.16	DB20	DB19 <db20< td=""><td>無し</td><td>不明</td><td>不明</td><td>1個体</td><td>8</td><td>約 30 歳代</td><td>_</td></db20<>	無し	不明	不明	1個体	8	約 30 歳代	_
DB-20	楕円形	1.0	0.76	0.2	DB19	DB20>DB19	無し	屈葬?	不明	1個体	3	成人	_
DB-21	不整円形	0.75	0.66	0.08		無し	銭貨2点	不明	不明	1個体	不明	小児?	_
DB-22	楕円形	0.98	0.72	0.1		無し	金属製品・ 銭貨2点	屈葬	北	1個体	3'	3歳~4歳	-
DB-23	楕円形	1.0	0.84	0.12		無し	無し	屈葬	北	1個体	우	約 40 歳代	-
DB-24							欠	番	·			•	
DB-25	楕円形	1.16	0.86	0.15		無し	カワラケ2点	左下横臥屈葬	北	1 個体	31	老齢	無歯顎
DB-26	不整楕円形	1.5	0.96	0.36	DB12	DB26 <db12< td=""><td>銭貨 19 点</td><td>右下横臥屈葬</td><td>北</td><td>1個体</td><td>우</td><td>老齢に近い</td><td>-</td></db12<>	銭貨 19 点	右下横臥屈葬	北	1個体	우	老齢に近い	-

火葬跡	形状	主体	部規模(m)		重複		被火葬				被火葬者	
No	1510	長軸	短軸	深さ	遺構名	新旧	副葬品	被火葬状態	頭位	個体数	性別	死亡年齢	備考
KB-1	タイプⅡ	0.88	0.62	-		無し		屈位	北	1 個体	3	成人	_
KB-2	タイプⅡ	1.3	0.66	_		無し		屈位	北	1 個体	3	成人	_
KB-3	タイプⅣ?	1.08	0.76 以 上	-	DB26	KB3 <db26< td=""><td>銭貨1点</td><td>不明</td><td>不明</td><td>不明</td><td>不明</td><td>不明</td><td>_</td></db26<>	銭貨1点	不明	不明	不明	不明	不明	_

土坑 No	形状	夫	見模(m)			重複	副葬品	備考
TAL INO	1511	長軸	短軸	深さ	遺構名 新旧			
D-1	不整形	3.1	2.0	0.24	D9	D1 <d9< td=""><td>カワラケ2点</td><td>馬頭観音?</td></d9<>	カワラケ2点	馬頭観音?
D-2	不整円形	0.46	0.38	0.2	無し		無し	-
D-3	楕円形	0.84	0.6	0.08		無し	無し	-
D-4	隅丸長方形	2.5	1.11	0.1	DB2 D4 <db2< td=""><td>無し</td><td>-</td></db2<>		無し	-
D-5	楕円形	1.05	0.76	0.38		無し	無し	_
D-6	円形	直径約 0.	$44 \sim 0.46$	0.14		無し	無し	-
D-7	不整円形	直径約0	$.65 \sim 0.7$	0.12	無し		無し	_
D-8	不整円形	直径約 1.46 ~ 1.52		0.18		無し	無し	-
D-9	楕円形	1.02	0.8	0.24	DB1 · D1	D9>D1	カワラケ1点	_

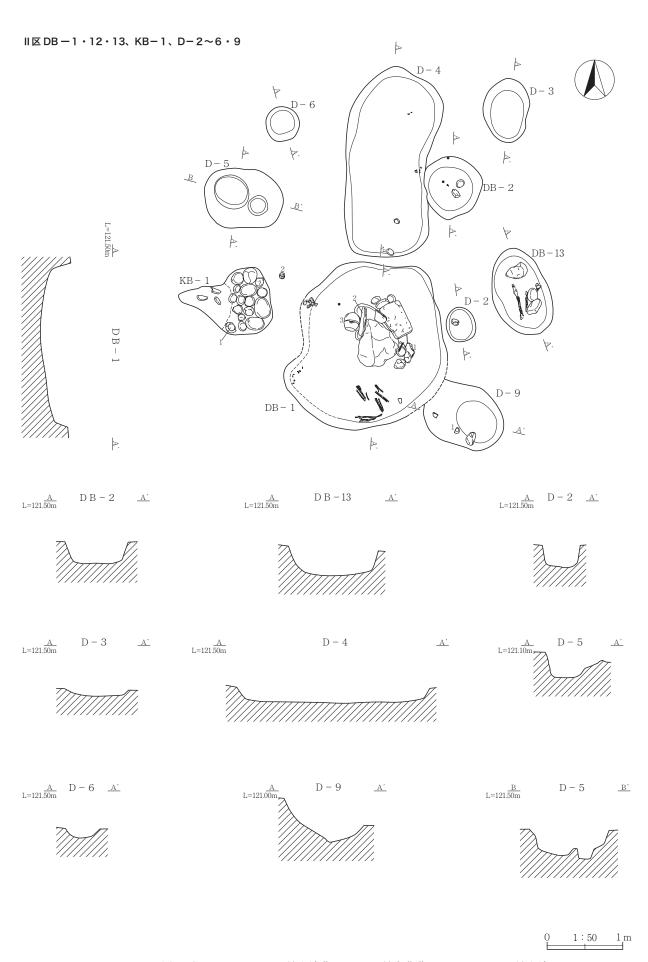
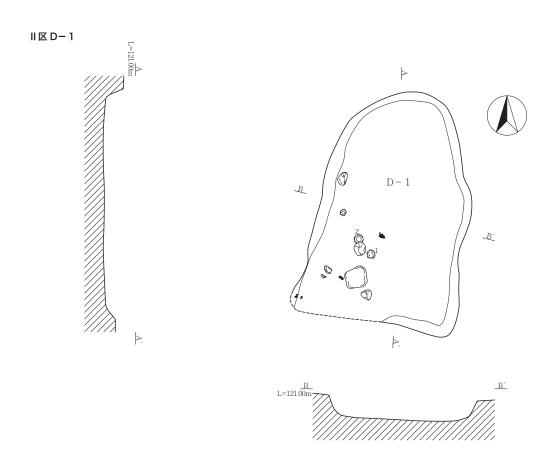


Fig.22 II区1面 DB-1·2·13 号土坑墓、KB-1号火葬墓、D-2~6·9号土坑

II区DB-19~23·26、KB-3 DB - 19 DB - 22 ... A' ✓ DB-21 DB - 20 炭化物 炭化物 DB - 26 KB - 3 DB-19 <u>A'</u> DB-20<u>A</u>, L=121.00m L=121.00m DB - 21 <u>A'</u> DB-22L=121.50m L=121.00m DB-23L=121.00m DB - 26L=121.00m II区 DB — 25 L=121.00m D B - 25 <u>A'</u> DB - 25 1:50 1 m

Fig.23 II区1面DB-19~23·25·26号土坑墓、KB-3火葬墓



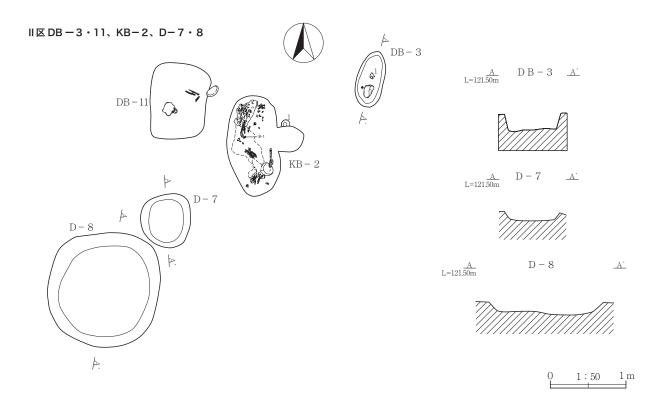


Fig.24 II 区 1 面 DB – 3·11 号土坑墓、KB – 2 火葬墓、D – 1·7·8 号土坑

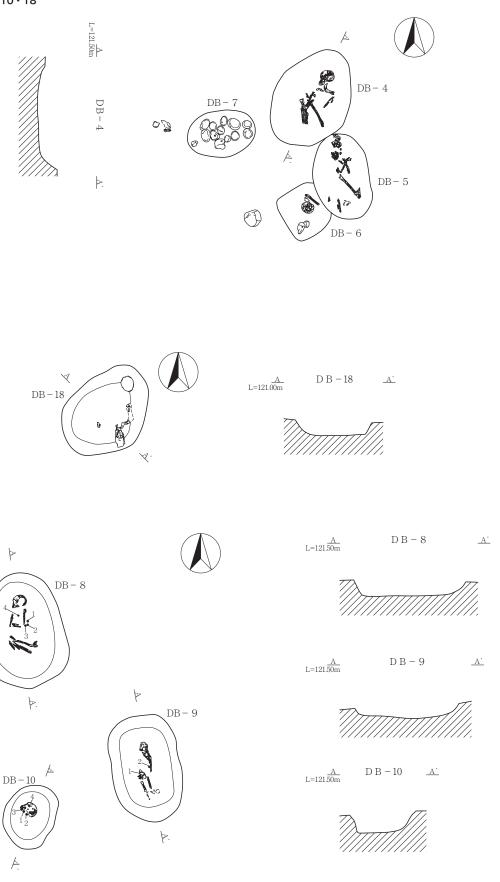


Fig.25 II \boxtimes DB - $4 \sim 10 \cdot 18$ 号土坑墓

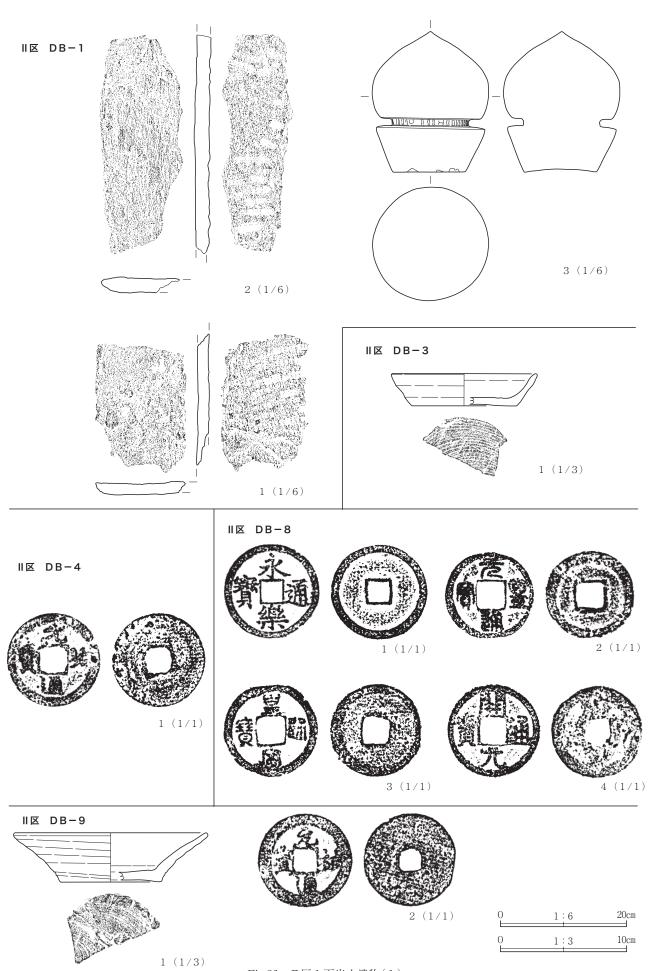


Fig.26 II区1面出土遺物(1)

II区 DB-10 3 (1/1) 4 (1/1) 1 (1/1) II区 DB-21 Ⅱ区 DB-12 1 (1/3) 2 (1/3) 2 (1/1) II区 DB-22 1 (1/2) 2 (1/1) 3 (1/1) 10 cm II区 DB-25 Ⅱ区 KB-1 2 (1/3) 1 (1/3)

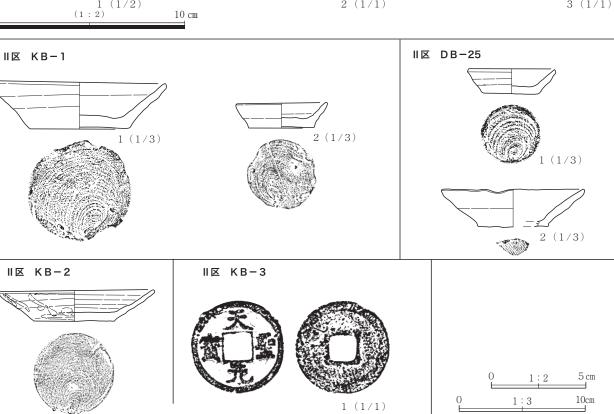


Fig.27 II区1面出土遺物(2)

1 (1/3)

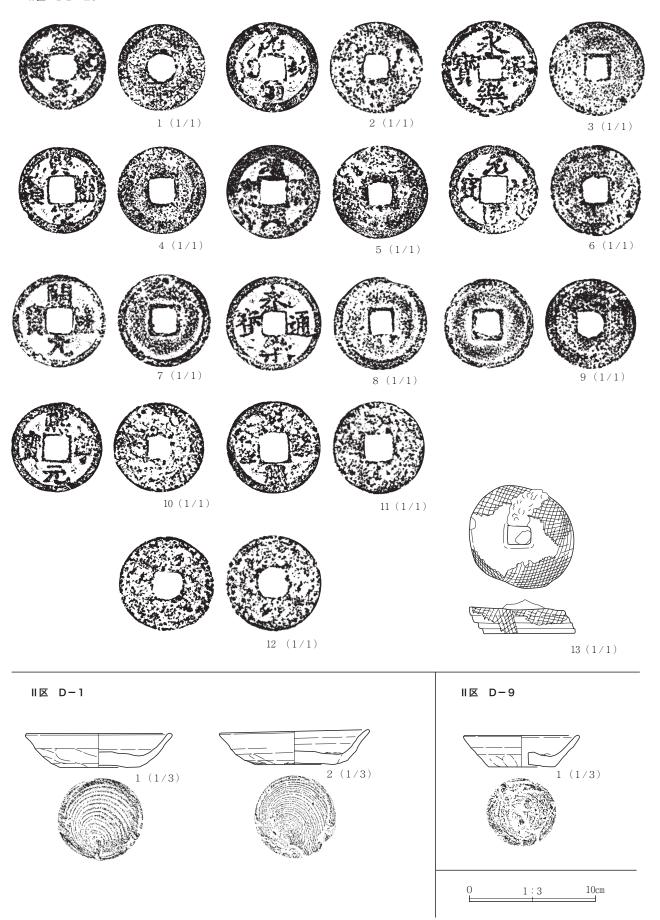
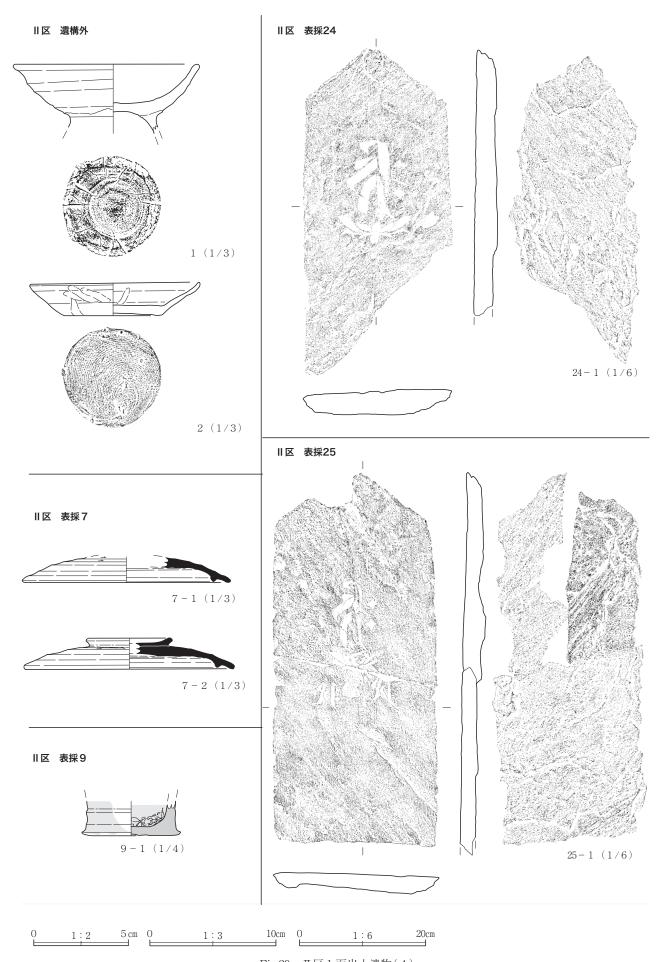
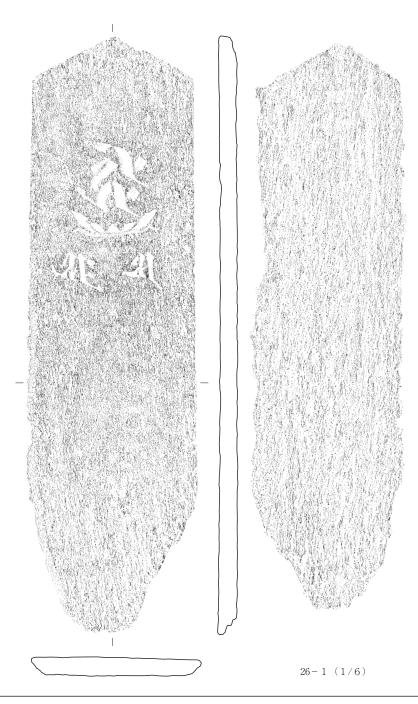


Fig.28 II区1面出土遺物(3)







II区 表採27

Fig.30 II区1面出土遺物(5)

27-1 (1/6)

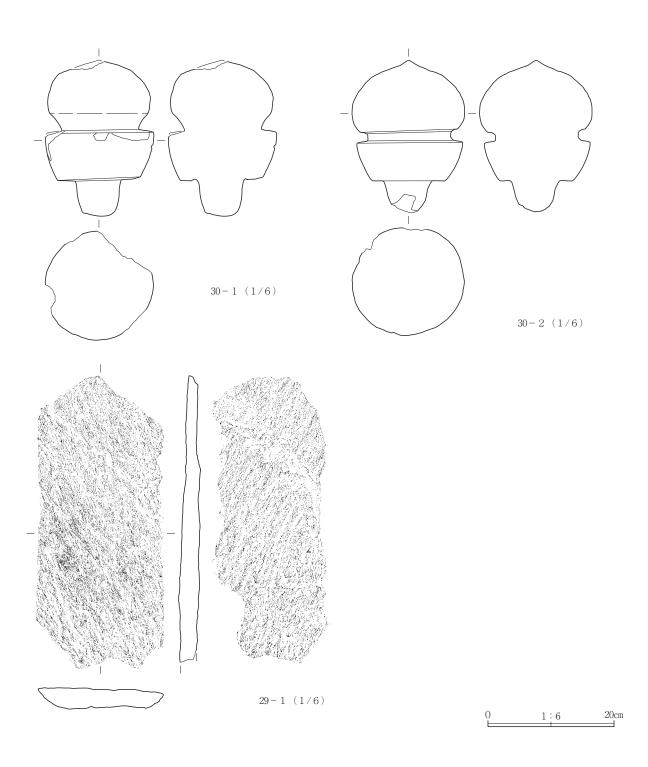


Fig31. II区1面出土遺物(6)

Tab.6 Ⅱ区出土遺物観察表

\parallel	区	D	В	_	1
-------------	---	---	---	---	---

1 板碑	破片 破片 完形 残存状況・備考) 1/4 残存 残存状況・備考 完形
1	完形
図	残存状況・備考 1/4 残存
No 日土位置 短別・響電 日達 (cm) 原産 (cm) 高さ (cm) 総土 現成 色語 世形、皮 ・塩形、文様等の持数 日本	1/4 残存
日 日	1/4 残存
INC DB - 4	残存状況・備考完形
田立図 田立 田立	完形
	残存状況・備考
No 出土位置 種別・番種 唐径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭乗・鋳造年等 3 枚巻 4 mm	
1 C1 第級品 銘質 25mm 1.4mm 7mm 第 1.8g 未業通宝(1078年) 2 C2 類型品 銘質 25mm 1.5mm 6.8mm 第 1.8g 元島通宝(1078年) 3 C3 類型品 銘質 25mm 1.5mm 6.8mm 第 2.7g 皇朱通宝(1079年) 4 C4 類型品 分質 25mm 1.5mm 6.8mm 第 2.7g 皇朱通宝(1039年) 1 DEDB - 9 No 出土位置 種別 器種 D達(cm) 医径(cm) 高さ(cm) 施土 規成 会質 25mm 1.4mm 5.6mm 第 2.5g 地域 色調 25mm 1.5mm 6.8mm 第 2.5g 電影 度 25mm 1.5mm 6.8mm 第 2.5g 1 DYR 8/4 附上的第33+7 同当中国版个外区月32+72 所置 10YR 8/4 附上的第33+7 同当中国版个外区月32+73 所置 10YR 8/4 附上的第32+7 同当中国版个外区月32+73 所置 10YR 8/4 附上的第32+7 所置 10YR 8/4 附上的第32+7 所置 25mm 名質 25mm 1.4mm 5.6mm 第 2.5g 電影 底 整形 文庫等の特徴 10YR 8/4 附上的第32+7 所置 25mm 名質 25mm 1.5mm 6.5mm 第 2.5g 電影 (1078年) 1 C1 類型品 3 C3 類型品 4 C4 類型品 4 C4 類型品 5 Cmm 1.5mm 5.6mm 第 2.5g 地域 色調 2 2 2 枚密若 1.408年) 2 10YR 8/4 内部 に指導31+7年 年間知底投資 1-7年 年間 3 C3 類型品 4 C4 類型品 5 Cmm 1.5mm 5.6mm 第 2.5g 地域 色調 3 C4 類型品 4 C5 所型 25mm 1.5mm 5.6mm 第 2.5g 地域 色調 3 C5 算型品 3 C7 類型品 3 C8 類型品 3 C9 類型品 3 C9 類型品 3 C9 類型品 3 C9 類型品 3 C9 類型品 3 C9 類型品 3 1mm 1.mm 6.2mm 第 2.8g 地域 色調 3 C9 類型品 3 1mm 1.mm 6.2mm 第 2.8g 地域 色調 4 Mg 1.1mm 1.7mm 第 1.8g 工業形 文種等の主 3 定年 20年の 42年の 20年の 42年の 42年の 42年の 42年の 42年の 42年の 42年の 42	
2 C2 頻製品 接貨 2.5mm 1.4mm 7mm 銅 1.8g 元豊通宝(1078年) 3 C3 頻製品 接貨 25mm 1.5mm 6.8mm 銅 2.7g 皇朱通宝(1039年) 4 C4 頻製品 接貨 2.5mm 1.5mm 6.8mm 銅 2.7g 皇朱通宝(1039年) 2.4xm能 Mo 出土位置 類別。 種別・器種 日産(cm) 原産(cm) 高さ (cm) 胎土 焼成 (2.5mm 2.5g 2.5g 2.5g 2.5g 2.5g 2.5g 2.5g 元息通宝(1078年)	
3	完形
日本日田	完形
IE DB - 9 No	完形
P1 カワラケ 15.2 18.0 (3.9 後流砂 良好 10YR 8/4 外部 : 旧路ココナ芹 原口の電影や 今及13コナ芹 製造 全部 1	
P1	残存状況・備考
No 出土位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等 1 C1 解裂品 25mm 1.4mm 5.6mm 第 2.5g 元豊通宝 (1078 年) 1 区DB - 10 1 公数	1/3 残存
IECDB - 10 銭後 25mm 1.4mm 5.5mm 朔 2.5g 九島油玉 (1078年) No 出土位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等 1	残存状況・備考
No 出土位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 鉄種・鋳造年等 元豊通宝 (1078 年) 1	完形
1 C1 銅製品 銭貨 24mm 1.5mm 6.5mm 銅 2.8g 元豊通宝(1078年) 2 C2 銅製品 銭貨 24mm 1.3mm 6.5mm 銅 2.8g 皇朱通宝(1078年)・1枚不読 3 C3 銅製品 銭貨 25mm 1.5mm 5.6mm 銅 2.8g 皇朱通宝(1039年) 4 C4 銅製品 銭貨 25mm 1.5mm 5.6mm 銅 2.5g 永楽通宝(1408年) II 区D B - 12 No 出土位置 種別・器種 口径(cm) 底径(cm) 底	T8+1ND ##
2 C2 銅製品 銭貨 - - - - - 2枚産者:1枚は元豊通宝(1078年)・1枚不読 銭貨 3 C3 銅製品 銭貨 24mm 1.3mm 6.5mm 銅 2.8g 皇末通宝(1039年) 4 C4 銅製品 銭貨 25mm 1.5mm 5.6mm 銅 2.5g 水楽通宝(1039年) II 区DB-12 No 出土位置 種別・器種 口後(cm) 底径(cm) 高さ(cm) 胎土 焼成 色調 (改育格) 大真 整 (10YR 8/4 外第:1歳第3コナデ 係部町成形後コナデ 保部町成形後ヨコナデ 保部町 (内部:1口縁部ヨコナデ 以下の内の成形後ヨコナデ 成部町 (内部:1口縁部ヨコナデ 以下の内の成形後ヨコナデ 成部町 (内部:1口縁部ヨコナデ 以下の内の成形後ヨコナデ 成部町 (内部:1口縁部ヨコナデ (1086年) II 区DB-21 極別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等 1 C1 銅製品 銭貨 2.8g 元枯通宝(1086年) 元枯通宝(1086年) 2 C2 銅製品 銭貨 2.4mm 1.7mm 7mm 銅 1.8g 元養通宝(1078年) II 区DB-22 無限品 (1) (2) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3	残存状況·備考 完形
3	完形
B	
II 区 D B - 12 Mo 出土位置 種別・器種 口径 (cm) 底径 (cm) 高さ (cm) 胎土 焼成 色調 器形、成・整形、文様等の特徴 1 覆土 カワラケ [12.3] [8.8] 2.7 級密 1	完形
No 出土位置 種別・器種 口径 (cm) 底径 (cm) 底さ (cm) 胎土 焼成 色調 器形、成・整形、文様等の特徴 10 YR 8/4 内部:口線部ヨコナテ 体部の成形後ヨコナア 底部回転	完形
1 覆土 カワラケ [12.3] [8.8] 2.7 級密 1mm 小石 10 10 10 10 10 10 10 1	残存状況・備考
2 覆土 カワラケ 12.2 8.4 2.8 微細砂 lmm 小石 良好 浅黄橙 l0YR 8/4 外部: 口線部ヨコナデ 体部ロクロ成形後ヨコナデ 底部回転 lpm 小部: 口線部ヨコナデ 体部ロクロ成形後ヨコナデ 底部回転 lpm 小部: 口線部ヨコナデ kmm lpm kmm lpm lpm kmm lpm lpm lpm lpm lpm lpm lpm lpm lpm l	
No 出土位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等	1/3 残存
1 C1 銅製品 銭貨 25mm 1.8mm 5.8mm 銅 2.8g 元祐通宝 (1086年) 2 C2 銅製品 銭貨 24mm 1.7mm 7mm 銅 1.8g 元豊通宝 (1078年) II区DB-22金属製品・銭貨 No 出土位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等 1 C2 銅製品 銀貨 24mm 1.3mm 6.7mm 銅 2 g 里宋元宝 (1101年) 3 C2 銅製品 銭貨 24mm 1.7mm 6.5mm 銅 2.1g 政和通宝 (1111年) II区DB-25 No 出土位置 種別・器種 口径 (cm) 底径 (cm) 高さ (cm) 胎土 焼成 色調 器形、成・整形、文様等の特徴 インドンド マノロ成形後ナデ 底部回転分り *衛 1 覆土 カワラケ 7.8 4.4 2.0 緻密 良好 内部: 口縁部ナデ 以下ロクロ成形後ナデ 底部回転分り *衛 2 覆土 カワラケ [11.2] [5.6] 3.0 緻密 良好 内部: 口縁部コナデ 以下ロクロ成形後ナデ 以下ロクロ成形後オコナデ 成部回転分り *衛 II区DB-26 Mo 出土位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等	
1 C1 銭貨 25mm 1.8mm 5.8mm 期 2.8g 元休旭重 (1086年) 2 C2 銅製品 銭貨 24mm 1.7mm 7mm 銅 1.8g 元豊通宝 (1078年) II区DB-22金属製品・銭貨 No 出土位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等 1 C2 銅製品 銭貨 24mm 1.3mm 6.7mm 銅 2 g 里宋元宝 (1101年) 3 C2 銅製品 銭貨 24mm 1.7mm 6.5mm 銅 2.1g 政和通宝 (1111年) II区DB-25 No 出土位置 種別・器種 口径 (cm) 底径 (cm) 高さ (cm) 胎土 焼成 色調 器形、成・整形、文様等の特徴 1 覆土 カワラケ 7.8 4.4 2.0 緻密 良好 小部:口縁部ナデ 以下ロクロ成形後ナデ 2 覆土 カワラケ [11.2] [5.6] 3.0 緻密 良好 小部:口縁部ヨカテア 以下ロクロ成形後ナデ 以下ロクロ成形後ナデ II区DB-26 極別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等 No 出土位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等	残存状況・備考
I 区 D B - 22 金属製品・銭貨	完形
No 出土位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等 1 C2 銅製品 31mm 1mm 5.2mm 銅 用途不明金属 ボタン状の裏に帯 2 C1 銅製品 銭貨 24mm 1.3mm 6.7mm 銅 2 g 聖宋元宝 (1101 年) 3 C2 銅製品 銭貨 24mm 1.7mm 6.5mm 銅 2.1g 政和通宝 (1111 年) II 区D B - 25 No 出土位置 種別・器種 口径 (cm) 底径 (cm) 高さ (cm) 胎土 焼成 色調 器形、成・整形、文様等の特徴 1 覆土 カワラケ 7.8 4.4 2.0 緻密 良好 内部:口縁部ナデ 以下ロクロ成形後ナデ 底部回転分・デ 2 覆土 カワラケ [11.2] [5.6] 3.0 緻密 良好 内部:口縁部コナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ II 区D B - 26 Mo 出土位置 種別・器種 直径 厚き 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等	完形
1 C2 銅製品 31mm 1mm 5.2mm 銅 7g 用途不明金属 ボタン状の裏に帯 2 C1 銅製品 24mm 1.3mm 6.7mm 銅 2 g 聖宋元宝 (1101 年) 3 C2 銅製品 34mm 1.7mm 6.5mm 銅 2.1g 政和通宝 (1111 年) □区DB − 25 No 出土位置 種別・器種 □径 (cm) 底径 (cm) 高さ (cm) 胎土 焼成 色調 一般形 大阪・整形、文様等の特徴 2 複土 カワラケ 7.8 4.4 2.0 緻密 良好 投好 内部:口縁部ナデ 以下ロクロ成形後ナデ 底部回転 2 複土 カワラケ [11.2] [5.6] 3.0 級密 良好 明貨楊 小部:口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形後オデ 以下ロクロ成形後オテル □区DB − 26 No 出土位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等 3 3 3 3 3 3 3 3 3	残存状況・備考
2 C1 銭貨 24mm 1.3mm 6.7mm 鋼 2 g 壁朱元宝 (1101 年) 3 C2 鋼製品 銭貨 24mm 1.7mm 6.5mm 鋼 2.1g 政和通宝 (1111 年) II 区DB - 25 No 出土位置 種別・器種 口径 (cm) 底径 (cm) 高さ (cm) 胎土 焼成 色調 器形、成・整形、文様等の特徴 1 覆土 カワラケ 7.8 4.4 2.0 緻密 良好 内部: 口縁部ナデ 以下ロクロ成形後ナデ 底部回転後ナデ 底部回転後サデ 2 覆土 カワラケ [11.2] [5.6] 3.0 緻密 良好 明黄褐 (10YR 7/6) 内部: 口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ は部屋 (10YR 7/6) 内部: 口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 銀回収品 II 区DB - 26 極別・器種 (10YR 7/6) 極別・器種 (10YR 7/6) 内部: 口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 銀際の成形後ョコナデ 銀際の成形後 (10YR 7/6) 大田 (10YR 7/6) 内部: 口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 銀際の成形を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面を表面の表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面の表面を表面の表面を表面の表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面の表面の表面を表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表面の表	完形
I 区 D B - 25 No 出土位置 種別・器種 口径 (cm) 底径 (cm) 高さ (cm) 胎土 焼成 色調 器形、成・整形、文様等の特徴	完形
No 出土位置 種別・器種 口径 (cm) 底径 (cm) 島さ (cm) 胎土 焼成 色調 器形、成・整形、文様等の特徴 1 覆土 カワラケ 7.8 4.4 2.0 緻密 良好 橙 7.5YR 7/6 内部: 口縁部ナデ 以下ロクロ成形後ナデ 底部回転 7.5YR 7/6 内部: 口縁部コナデ 以下ロクロ成形後ナデ 底部回転 7.5YR 7/6 内部: 口縁部コナデ 以下ロクロ成形後ナデ 底部回転 50 ** 第二日縁部コナデ 以下ロクロ成形後オテア 以下ロクロ成形後オテア 以下ロクロ成形後オラナデ 底部匝系列 ** 1 以下 0.0 日本 1.0YR 7/6 内部: 口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 以下ログロ成形後ヨコナデ 以下ログロ成形後ココナデ 以下ログロ成形後ココナデ 以下のグロ成形後ココナデ は一様の 1.0 日本 1.0 金銭種・鋳造年等 金銭種・鋳造年等	75.12
1 覆土 カワラケ 7.8 4.4 2.0 緻密 良好 橙 7.5YR 7/6 内部: 口縁部ナデ 体部ロクロ成形後ナデ 底部回転 1 人の部: 口縁部ナデ 以下ロクロ成形後ナデ 底部回転 2 人の部: 口縁部ナデ 以下ロクロ成形後ナデ 底部回転糸切 指 10YR 7/6 内部: 口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヨコナデ 4 人の部: 口縁部ヨコナデ 4 人の部: 口縁部ヨコナデ 4 人の部: 口縁部ヨコナデ 4 人の部: 口縁部ヨコナデ 4 人の部: 口縁部コナデ 4 人の部: 口縁部コナディ 4 人の部: 口縁和コナディ 4 人の部: 口縁和コナディ 4 人の部: 口縁和コナディ 4 人の本: 口縁和コナディ 4 人の 4 人の本: 口縁和コナディ 4 人の本: 口縁和コナディ 4 人の本: 口縁和コナディ 4 人の本: 口縁和コナディ 4 人の	完形
2 覆土 カワラケ [11.2] [5.6] 3.0 緻密 良好 明黄褐 小祭: 口縁部ヨコナデ 体部呼吸形後ヨコナデ は下ロクロ成形後ヨコナデ リアロクロ成形後ヨコナデ リアロクロ成形後ヨコナデ リアロクロ成形後ヨコナデ リアロクロ成形後ヨコナデ リントログロ成形後ヨコナデ リントログロ成形後ヨコナデ は 上位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等	完形
図DB − 26	完形
No 出土位置 種別・器種 直径 厚さ 穿孔径 材質 重量 銭種・鋳造年等	完形 現存状況・備考 切 ほほご完形
1	完形 発存状況・備考 切 ほぼ完形
1 C1 銀貨 23mm 1.5mm 6.7mm 銅 1.9g 熈寧元宝(1068 年)	完形 現存状況・備考 切 ほほご完形
2 C2 銅製品 銭貨 25mm 1.8mm 6.2mm 銅 1.5g 元祐通宝(1086年)	完形 残存状況・備考 切 ほほま完形 1/4 残存
3 C3 銅製品 銭貨 25mm 2mm 5mm 銅 2.6g 永楽通宝(1408年)	完形 残存状況・備考 切 ほほご完形 り 1/4 残存 残存状況・備考
4 C4 銅製品 銭貨 24mm 1.6mm 6.5mm 銅 2.1g 熈寧元宝(1068 年)	完形 現存状況・備考 (まま完形 1/4 残存 現存状況・備考 完形
5 C5 銅製品 銭貨 25mm 1.5mm 6mm 銅 2.4g 元祐通宝(1086年)	完形 残存状況・備考 切 はまま完形 り 1/4 残存 残存状況・備考 完形 完形
6 C6 銅製品 銭貨 24mm 1.7mm 6.5mm 銅 3g 元祐通宝(1086年)	完形 残存状況・備考 切 ははま完形 (5) 1/4 残存 残存状況・備考 完形 完形

No	出土位置	種別・器種	直径	厚さ	穿孔径	材質	重量		銭種・鋳造年等	残存状況・備考
7	C7-1	銅製品 銭貨	25mm	1.5mm	6.2mm	銅	2.3g		開元通宝(996 年)	完形
8	C7-2	銅製品 銭貨	25mm	1.6mm	5.7mm	銅	2.6g		永楽元宝(1408 年)	完形
9	C7-3	銅製品	_	_	_	銅	10.1g		3枚癒着: 3枚共に不読	完形
10	C9-1	銭貨 銅製品	24mm	1.6mm	6 mm	銅	2.2g		熈寧元宝(1068 年)	完形
		銭貨 銅製品								
11	C9-2	銭貨 銅製品	24.5mm	1.5mm	7 mm	銅	1.8g		熈寧元宝 (1068 年)	完形
12	C10	銭貨 銅製品	-	-	-	銅	5.5g		2枚癒着: 2枚共に不読	完形
13	C11	銭貨	-	_	-	銅	16.6g		4 枚癒着:4 枚共に不読 布付着	完形
Π⊵	X K B - 1 出土位置	種別・器種	□径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	1	カワラケ	13.9	8.0	3.8	緻密	良好	浅黄橙	外面: 口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形 一部ナデ調整 回転糸切内面: 口縁部~底部 ロクロ成形	
2	2	カワラケ	7.1	5.3	2.0	白色粒含む	良好	にぶい黄橙色	外面:口縁部ヨコナデ 体部ロクロナデ 底部回転糸切	
	<u> </u> ☑KB−2							R 6/3	内面:口縁部ヨコナデ 以下ロクロナデ	1/4 欠損
No	出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	P1	カワラケ	12.2	6.4	2.5	緻密	良好	橙 7.5YR 7/6	外面:口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形 回転糸切 内面:ロクロ成形 一部ナデ 底部ヘラ状工具で調整	2/3 残存
_	KB-3					1155				Indian ma
No	出土位置	種別・器種 銅製品	直径	厚さ	穿孔径	材質	重量		銭種・鋳造年等	残存状況・備者
1	C 1	銭貨	25mm	1.5mm	6.9mm	銅	3.1g		天聖元宝(1023 年)	完形
II ⊵ No	∠ D − 1 出土位置	種別・器種	□径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備者
1	I区D1/P1	カワラケ	[11.3]	6.5	2.7	白色粒を含む	良好	浅黄色	外面:口縁部・ヨコナデ 以下ロクロナデ 底部回転糸切内面:口縁部・ヨコナデ 以下ロクロナデ	2/3 残存
2	I区D1/P2	カワラケ	11.6	6.2	2.8	小石を含む	良好	2.5Y7/4 浅黄色	外面:口縁部・ヨコナデ 体部ロクロナデ 底部回転糸切	完形
	ID-9	~ / / /	11.0	0.2	2.0	7741 2 1 1 5	16XI	2.5Y 7/3	内面:口縁部・ヨコナデ 以下ロクロナデ)L/12
No	出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備者
1	I区D 9/P 1	カワラケ	9.0	5.2	2.5	茶色粒 小石含む	良好	橙色 7.5YR 7/6	外面: 口縁部ヨコナデ 体部ロクロナデ 底部回転糸切り 内面: 口縁~底部 ロクロナデ	口縁部 1/4 欠損
_	送遺構外									
No	出土位置	種別・器種 土師質	口径 (cm)	底径 (cm)		胎土	焼成	色調 浅黄橙	器形、成・整形、文様等の特徴 外部:口縁部ヨコナデ 体部ロクロナデ 付高台 底部回転糸り	残存状況・備考
1	P 1	高台埦	14.6	-	(5.5)	緻密	良好	10YR 8/4	内部:ロクロナデ 外部:口縁部ヨコナデ 体部ロクロ成形後一部ナデ ミガキ	一部欠損
2	P 2	カワラケ	13.3	7.8	2.6	緻密	良好	橙 7.5YR 7/6	内部:ロクロ成形後一部ヘラミガキと	ほぽ完形
II ⊵ No	区表採 7 出土位置	種別・器種	□径 (cm)	序径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	7-1	須恵器		[16.2]	(2.0)	茶色粒を含む	良好	にぶい黄橙色	外部:体上部ヘラケズリ 以下ロクロナデ	1/5 残存
2	7-2	蓋 須恵器	[6.4]	[16.4]	2.5	白色粒を含む	良好	7.5Y 6/2 灰色	内部: ロクロナデ 外部: つまみ部ヨコナデ 天井部ヘラケズリ 以下ロクロナデ	1/6 残存
	<u>' - ²</u> 区表採9	蓋	[0.4]	[10.4]	2.0		ICAI	5Y 6/1	内部:ロクロナデ	1/0/2/17
No	出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	9-1	須恵器 コネ鉢	-	[10.4]	(3.7)	白色粒 を含む	良好		外部:体部ロクロナデ 底部回転ヘラケズリ 内部:体部〜底部ロクロナデ	底部 1/2 残存
_	表採 24									
No	出土位置	種別・器種	長さ	ф	厚	石材		表: 主 直種	色調 子キリーク(阿弥陀如来)、蓮座有。脇侍無し。	残存状況・備者
1	24	板碑	(52.0)	(24.2)	4.0	緑泥片岩	<u> </u>	裏:特に無し		破片
II ⊵ No	区表採 25 出土位置	種別・器種	長さ	ф	厚	石材			色調	残存状況・備考
1	25	板碑	(61.7)	(26.7)	3.5	緑泥片岩	<u> </u>	表:主尊キリ裏:特に無し	リーク(阿弥陀如来)。蓮座有。脇侍有。	破片3点
II 🗵	L 区表採 26							35E · 1T V - ## [·	
No	出土位置	種別・器種	長さ	ф	厚	石材		主・ナボナ	色調 リーク(阿弥陀如来)異体。蓮座有。脇侍有。	残存状況・備者
1	26	板碑	94.9	26.7	3.0	緑泥片岩	<u> </u>	表: 特に無し		完形
II ⊵ No	区表採 27 出土位置	種別・器種	長さ	ф	厚	石材			色調	残存状況・備考
1	27	板碑	28.0	27.0	2.7	緑泥片岩	<u>u</u>		リーク(阿弥陀如来)。	上部のみ
	 区表採 29			L		14-10-11	-	裏:横ノミ症	艮	1
No	出土位置	種別・器種	長さ	ф	厚	石材			色調	残存状況・備者
1	29	板碑	(47.5)	20.0	3.3	黒色片岩	<u> </u>	表:主尊有。 裏:特に無し		上部のみ
	Z表採 30	14 DU 2017								12-11/2 *·
No	出土位置	種別・器種 五輪塔	長さ	ф	厚	石材			色調	残存状況・備者
1	30- 1	空輪・風輪	(24.4)	17.1	5.0	_		梵字は認め	ったない	3/4残存
2	30- 2	五輪塔 空輪·風輪	(24.2)	17.8	-	_		梵字は認める	られない	ほぼ完形

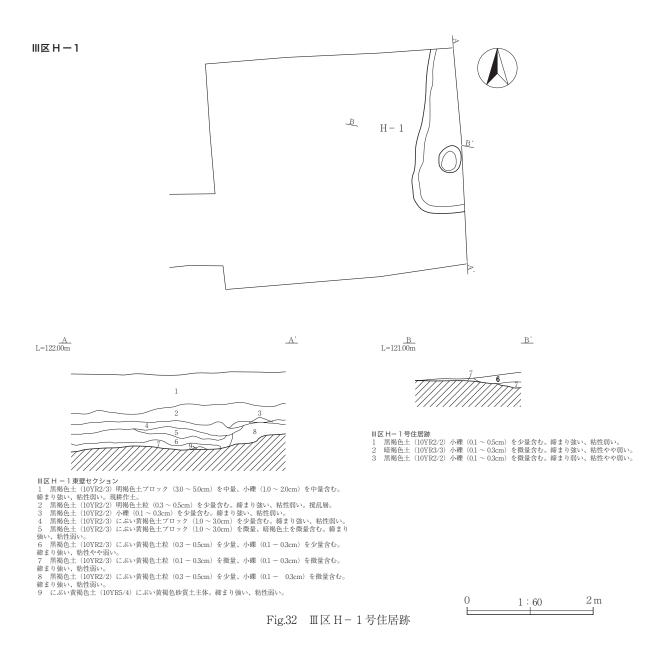
3 Ⅲ区

Ⅲ区は、ガソリンスタンド建設部の内、給油管敷設部・灯油キャノピー部にあたる。前橋市教育委員会による 試掘では、住居 0. 5 軒が想定された。但し、本発掘区は、地権者が造園業を営んでおり多くの木を植えていた ため、上部はかなり攪乱を受けていた。発掘調査の結果、本区では、竪穴住居 1 軒が検出された。なお、実際に は竪穴住居がもう 1 軒検出されているがカマド部がIV区で検出されたため、竪穴住居 2 軒の内 1 軒はIV区に記載 した。

(1) 竪穴住居

H-1号住居(Fig.32、PL.9)

位置 X195、Y99・100 規模 東西 (0.8) m、南北 (2.6) m、壁現高 (0.2) m。住居の南西部をのみが検出されている。 面積 1.62 m。 床面 締まりやや弱い。 重複 認められない。 カマド 検出されず。 貯蔵穴 検出されず。 柱穴 住居の南西部に1基認められた。 出土遺物 覆土中より土師器坏・塊・甕及び須恵器塊・瓶等が検出されたが、いずれも破片で掲載せず。 時期 出土遺物の傾向から10世紀代と推定される。



4 IV区

IV区は、ガソリンスタンド建設部の内、ショップ部にあたる。前橋市教育委員会による試掘では、住居 3 軒・土坑 3 基・溝 1 条が想定された。但し、本発掘区は、III区と同様に地権者が造園業を営んでいたために多くの木を植えており、上部はかなり攪乱を受けていた。発掘調査の結果、本区では、竪穴住居 6 軒・地下式土坑 1 基・縄文土坑 1 基・溝 2 条が検出された。なお、III区の項でも説明したが、H-6 号住居はIII区でも検出されているが、カマドを持つ主体部はIV区から検出されているので、IV区に含めた。

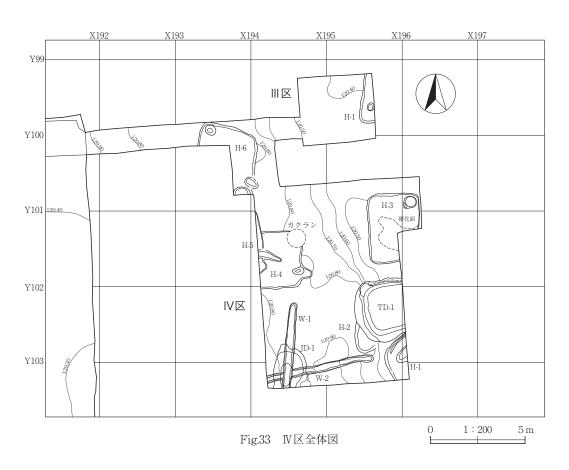
(1) 竪穴住居

竪穴住居は、H1号からH6号まで6軒が検出された。しかしながら、上層は攪乱が多く、残存深度は浅かった。 **H-1号住居**(Fig.33・34、PL.9)

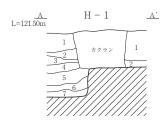
位置 X195·196、Y102·103 規模 東西壁 0.76m、南北壁 2.5m、壁現高 0.4m。住居の 1/4が検出されている。 面積 2.22 ㎡ 床面 締まりやや弱い。 重複 重複は認められない。 カマド 検出されていない。 貯蔵 穴 検出されていない。 柱穴 検出されていない。 出土遺物 住居の床面から、土師器の壺(P1 \sim P4)が 検出されている。 時期 時期の特定には至らなかった。

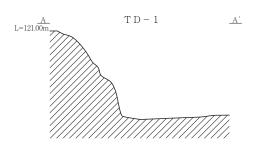
H-2号住居(Fig.33・34、PL.9)

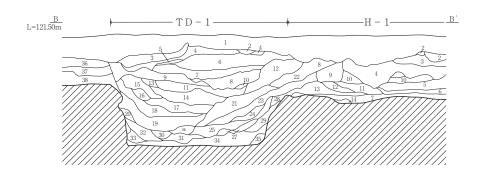
位置 X195、Y102 規模 東西1.0m、南北1.7m、壁現高0.3m。住居の一隅のみ検出されている。 面積 0.98 ㎡ 床面 締まりやや弱い。 重複 住居のほぼ全面で竪穴状遺構(TD-1)と重複している。新旧完形は、本住居の方が古い。 カマド 検出されていない。 貯蔵穴 検出されていない。 柱穴 検出されていない。 出土遺物 住居の覆土から、土師器の坏・甕、陶器の埦・平瓦が検出されている。但し、いずれも破片であるため図化せず。 時期 出土遺物の傾向から、7世紀代と推定される。



IV⊠ H-1 · 2、TD -1 TD-1A H - 2W-2Н-







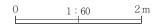
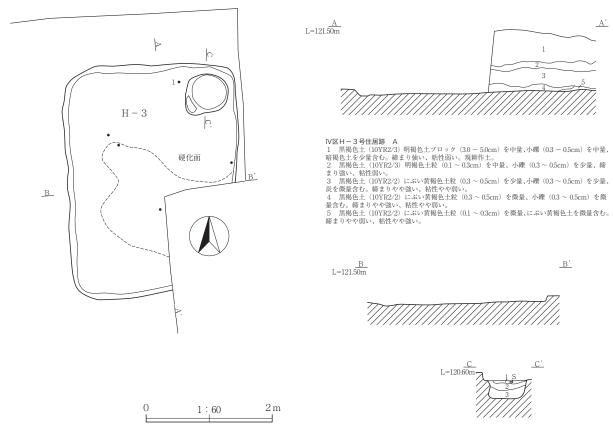


Fig.34 IV区 H-1 · 2 号住居 · TD-1 竪穴土坑跡

H-3号住居(Fig.35、PL.10)

位置 X195·196、Y100·101 規模 東西 3.7m、南北 5.6m、壁現高 0.1m。住居の南東部を除く 3/4 が検出 重複 重複は、認められない。 面積 7.84 m² 床面 締まりやや弱い。一部に硬化面。 されている。 貯蔵穴 カマドが検出されていないので断定は困難であるが、通常、住居の東側にカマド マド検出されず。 が構築された場合、貯蔵穴はその南側で検出される事例が多い。但し、断面を観察すると、柱穴というよりは貯 蔵穴に近い。 柱穴 検出されず。 出土遺物 住居の覆土から、土師質高台付埦・土師質釜が検出されている。 2点を図化した。 時期 出土遺物の傾向から、10世紀代と推定される。





- IV区H-3号住居跡貯蔵穴 1 黒褐色土 (10YR2/3) 小栗 $(03\sim0.5 cm)$ を少量、にぶい黄褐色ブロック(5.0 cm)を微量含む。締まりやや強い、粘性やや強い。 2 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) にぶい黄褐色土主体、黒褐色土を微量含む。締まりやや強い、粘性やや強い。 3 黒褐色土 (10YR2/3) にぶい黄褐色土ブロック(1.0 cm)を微量含む。締まりやや強い、粘性やや強い。

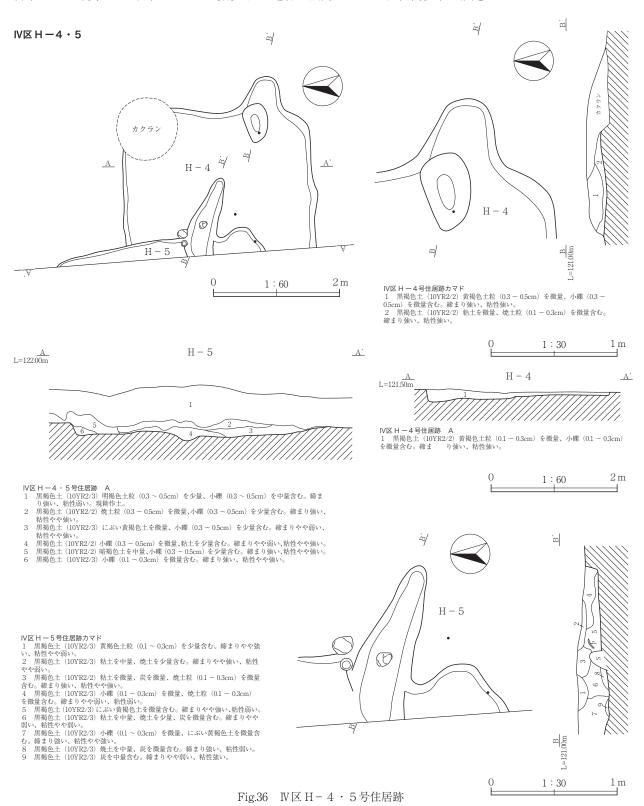
Fig.35 IV区 H-3号住居跡

H-4号住居(Fig.33・36、PL.10)

規模 東西 2.25m (カマドを除く)、南北 3.0m、壁現高 0.1m。住居の東側約 1/2 位置 X194、Y101·102 床面 締まりやや弱い。 重複 住居の東側で、H-5と重複している。 が検出されている。 面積 5.54 ㎡ 新旧完形は、本住居の方が古い。 カマド 東側に検出されている。 貯蔵穴 検出されなかった。 柱穴 検 出されなかった。 出土遺物 住居の覆土から、土師器坏・土師器甕・須恵器甕等が検出されている。但し、い ずれも破片であるため図化せず。 時期 出土遺物の傾向から、7世紀代と推定される。

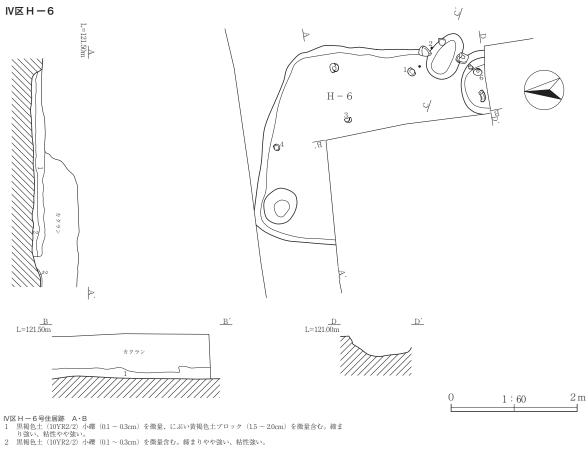
H-5号住居 (Fig.33・36、PL.10)

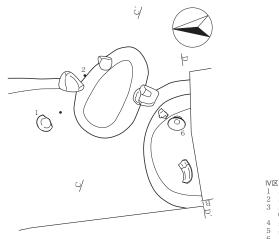
位置 X194、Y101 規模 東西 1.2m(カマド部含む)、南北 3.3m(南北壁)、壁現高 0.1m。住居東側(カマド部含む)のみが検出されている。 面積 1.13 ㎡ 床面 締まりやや弱い。 重複 住居の東側が、H - 4と重複している。新旧完形は、本住居の方が新しい。 カマド 住居の東側に検出されている。 貯蔵穴 検出されなかった。 柱穴 検出されなかった。 出土遺物 住居の覆土から、土師質坏(かわらけ)・土師質高台平皿・土師質羽釜を図化した。 時期 出土遺物の傾向から、10世紀代後半と推定される。

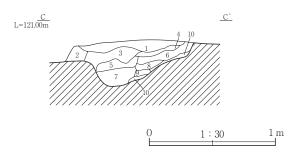


H-6号住居(Fig.37、PL.10)

位置 X193·194、Y99·100 規模 東西 3.15m、南北 3.3m、壁現高 0.2m。住居の南東部を除く 1/3 が検出 床面 締まりやや弱い。 重複 重複は、認められなかった。 されている。 面積 6.06 m² カマド 東側 貯蔵穴 カマドの南、住居の南東隅(推定)で検出されている。 柱穴 住居の北西部で に検出されている。 1基検出されている。 出土遺物 住居の床面から土師質境・灰釉碗・土師質高台付埦が、貯蔵穴から須恵器高 台高台付埦が検出されている。 時期 出土遺物の傾向から、9世紀後半と推定される。







- 性マで減い。 10 暗褐色土 (10YR3/4) 小礫 (0.1 ~ 0.3cm) を微量含む。締まり強い、粘性強い。

Fig.37 IV区 H-6号住居跡

(2) 竪穴土坑

竪穴土坑は、1基が検出されている。このTD-1は、H-2の主体部と重複している。新旧完形は、TD-1の方が新しい。東側が調査区外であるため、全容は不明である。時期及び用途も、不明である。

TD-1 (Fig.33 · 34, PL.10)

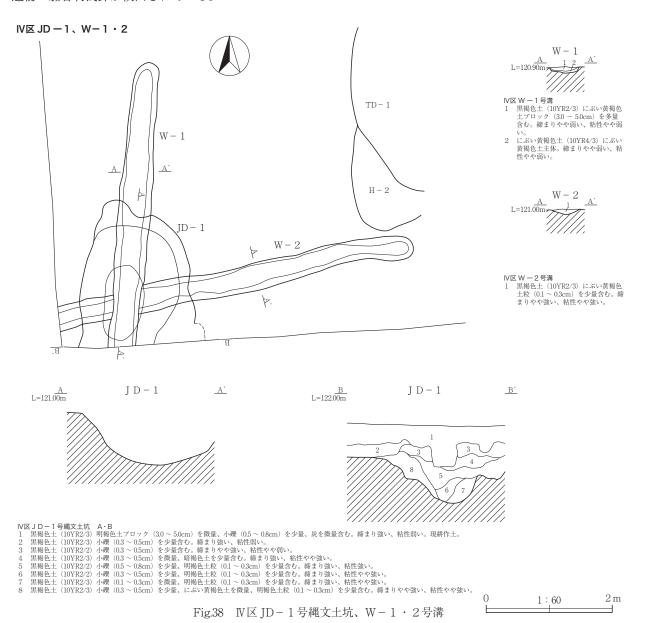
位置 X195・196、Y101・102 長軸 [南北] (3.25) m 短軸 [東西] (2.6) m 深さ 1.5m 平面形状 (方形) 遺物 覆土から、土師器坏・瓶、須恵器坏・埦・瓶、灰釉碗等が検出されている。土師器坏を図化した。

(3)縄文土坑

縄文土坑は、1 基が検出されている。この $\int D-1$ は、2 条の溝($W-1\cdot 2$)と重複している。新旧完形は、 $\int D-1$ の方が新しい。南側が調査区外であるため、全容は不明である。時期は、出土遺物から加曾利と推定されている。

JD-1 (Fig.33 · 38)

位置 X194、Y102・103 長軸 [南北] (2.3) m 短軸 [東西] (2.0) m 深さ 0.8m 平面形状 不整楕円形 遺物 加曾利浅鉢が検出されている。



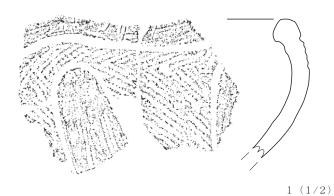


Fig39. IV区JD-1出土遺物

Tab.7 Ⅳ区JD-1土坑出土遺物観察表

IV⊠JD-1

No	出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考
1	覆土	縄文土器 浅鉢	-	-	-	細砂	良好	典包	波状口縁部に平行して巾約3~4mmの波状沈線。 胴部に巾約2mmの舌状沈線(上下)。	口縁部片

(4) 溝

W-1 (Fig.33 · 38, PL.10)

位置 X194、Y102・103 規模 長さ (4.45) m ・上幅 0.45m・下幅 0.35m 形状等 南北方向に走行し、断面弧状を呈する。 重複 W-2と交差して重複する。新旧完形は、本W-1の方が新しい。 出土遺物 土師器坏・甕、須恵器甕等が検出されているが図化せず。 時期 時期の特定には至らなかった。

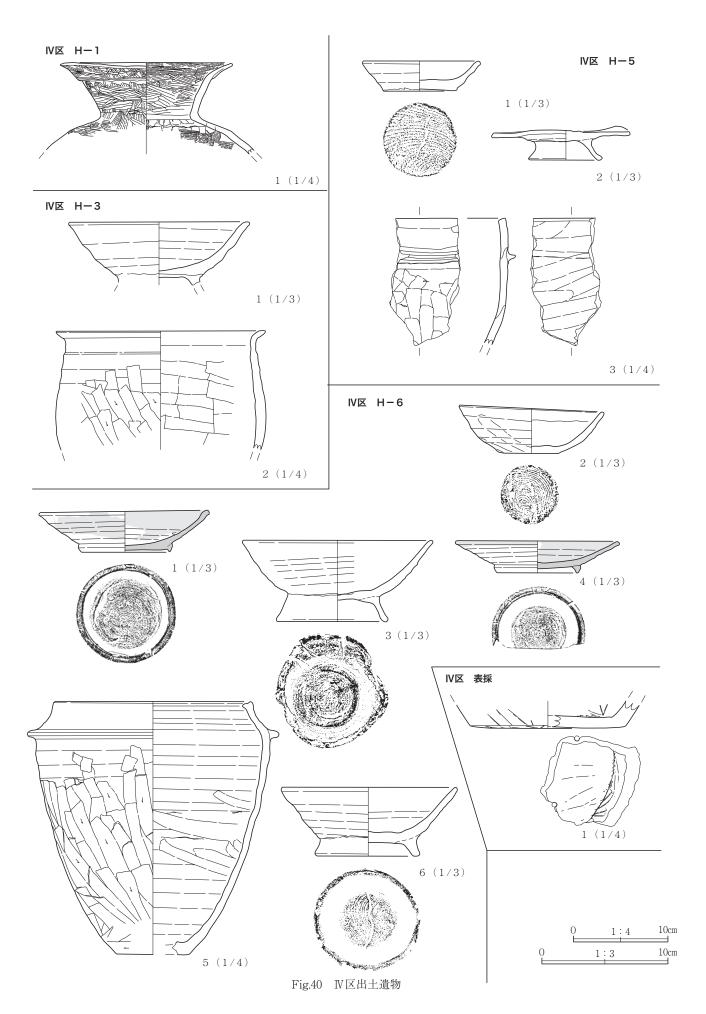
W-2 (Fig.33 · 38, PL.10)

位置 $X194 \cdot 195$ 、 $Y102 \cdot 103$ 規模 長さ (5.6) $m \cdot$ 上幅 0.45m · 下幅 0.3m 形状等 東西方向に走行し、断面弧状を呈する。 重複 W-1 と交差して重複する。新旧完形は、本W-2 の方が古い。 出土遺物 土師器坏・甕、土師質境・壺等が検出されているが破片で図化せず。 時期 時期の特定には至らなかった。

Tab.8 IV区出土遺物観察表

IV区H-

IV⊵	∑H−1												
No	出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考			
1	No.1 ~ 4、覆土	土師器 壺	18.2	-	(9.7)	微細砂	良好		外部:口縁部折り返し 肩部ハケメ後タテヘラミガキ後ヨコヘラミガキ 内部:口縁部ハケメ後タテヘラミガキ 絞り目痕・指頭痕有	口縁部~肩部			
IVD	IV⊠H − 3												
No	出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考			
1	No.4	土師器 高台付碗	[14.0]	-	(5.0)	微細砂 軽石	良好		外部:口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形 付け高台 内部:口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形	高台欠損 1/4 残存			
2	覆土	土師質 土釜	[22.1]	_	(12.5)	微細砂	良好	橙 7.5YR 7/6	外部:口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形後ヘラケズリ 内部:口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形後ナデ	口縁部~胴 上半 1/5			
IV⊵	∑H−5												
No	出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考			
1	覆土	土師質 坏	9.1	5.9	2.5	微細砂 軽石	良好	にぶい橙 7.5YR 7/3	外部:口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形後 静止糸切り 内部:口縁部ヨコナデ 以下ロクロ成形	完形・底部に ひび			
2	覆土	土師質 高台付皿	10.8	5.8	2.4	緻密	良好		外部:歪みが大きい。 ロクロ成形 付け高台 内部:ロクロ成形	完形・煤付着・ ひび有			
3	覆土	土師質 羽釜	-	-	-	軽石	良好		外部:口縁部ヨコナデ 胴部ナデ 付け鍔 内部:口縁部~胴部ナデ	破片			
IV	KH−6												
No	出土位置	種別・器種	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況・備考			
1	No.3	灰釉陶器 碗	12.0	6.8	3.2	緻密	良好	灰自 2.5Y 7/1	外部:口縁部ヨコナデ 体部ロクロナデ 底部回転糸切り内部:口縁部ヨコナデ 以下ロクロナデ	1/4 残存			
2	P 1	土師質 碗	11.2	4.2	3.7	雲母含む	酸化焔	橙 5Y 6/6	外部:ロクロナデ 底部回転糸切り	2/3 残存			
3	No.5	灰釉陶器 高台皿	[12.4]	[6.4]	2.5	緻密	良好	灰白	外部:口縁部ヨコナデ 体部ロクロナデ 底部回転糸切り	1/2 弱残存			
4	No.6	土師質 高台碗	[14.6]	[8.6]	6.3	細砂	やや軟質	明赤褐	外部:ロクロ成形 付け高台 回転糸切	一部欠損			
5	貯蔵穴 覆土	須恵器 羽釜	[20.2]	[7.6]	26.2	微細砂	良好	明赤褐 10YR 7/6	外部:ロクロ成形 つば後付け 体部ロクロ成形後へラ削り 煤付着	1/3 残存			
6	貯蔵穴 No.8	須恵器 高台碗	13.5	8.0	5.4	微細砂 軽石	良好		外部:ロクロ成形 付け高台 回転糸切 煤状の付着物 内部:ロクロ成形 煤状の付着物	完形			

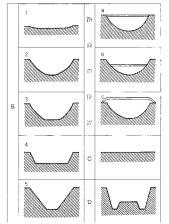


VI 発掘調査の成果と課題

1 古代の道

この1号道の硬化面下部には直径2cm~3cmの砂利が敷き詰められており、さらに、道下土坑が4基検出された。なお、道の覆土から8世紀前半と推定される土師器坏が検出された。しかし、道路遺構に関する著書を持つ中村太一によると、①道路遺構からは遺物がほとんど出土しない・②遺物が出土してもそれが他の土地か

らの流入である可能性を想定する必要がある・③路面の中に極めて古い土器が入っていたとしても路面を構築した土砂をどこから持ってきたかが問題・④長い間使用された道路には補修の手が入っている可能性が高い等の問題があり、年代決定が困難であると述べている(中村2000)。なお、1号道の硬化面下部からは道下土坑が4基検出された。日本全国での事例では、波板状凹凸面と呼ばれる状態のものが多く検出されているが、本遺跡では土坑状の状態である。これは、平坦な道ではなく緩やかに傾斜しているためと推定され、土坑状のものは傾斜した道で検出されている事例が多い。



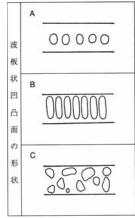


Fig.41 道路遺構分類

Fig.42 波板状凹凸面

先述の近江俊秀による道路遺構分類 [Fig.41 も Fig.42 も近江 (2006) より引用] では、B 3 タイプであり、波板状凹凸面では A タイプとなる。近くには東山道も通っているが、東山道が東西方向であるのに対し、本 1 号道は南北方向である。その角度は、西に 10 度傾いている状態であるため、その延長線上に位置する山王廃寺に向かう道であった可能性も想定できる。

引用文献 [著者名の五十音順]

近江俊秀 2006 『古代国家と道路:考古学からの検証』、青木書店

近江俊秀 2008 『道路誕生;考古学からみた道づくり』、青木書店

近江俊秀 2013 『古代道路の謎:奈良時代の巨大国家プロジェクト』、祥伝社

木下 良・坂詰秀一編 1994 「季刊・考古学:特集・古代の道と考古学 | 、第46号、雄山閣出版

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団編 2002 『田部井大根谷戸遺跡』、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

武部健一 2015 『道路の日本史:古代駅路から高速道路へ』、中央公論新社

中村太一 2000 『日本の古代道路を探す:律令国家のアウトバーン』、平凡社

奈良県立橿原考古学研究所編 1993 「鴨神遺跡」(奈良県文化財調査報告書第66集)、奈良県立橿原考古学研究所

2 中世土坑墓

元総社蒼海遺跡群(17街区)では、II区の1面(中世面)で墓坑群が検出された。時期の特定は困難であるが、少なくとも副葬品の出土銭貨には1点も寛永通宝が認められなかったこと、中世墓に多く認められる板碑や五輪塔が出土したこと、近世から認められる埋葬形態である座葬がなく屈葬であること、火葬跡も群馬県の中世遺構で認められる典型的な形態であることから中世に比定した。墓坑群は、土坑墓25基・火葬跡3基・土坑9基である。土坑では、獣骨が出土した土坑も認められたが人骨が認められない土坑も存在した。しかし、胎児・新生児・小児等、骨が薄くもろいために残存しなかった可能性もあり、墓坑であった可能性も否定できない。これらの墓坑群は試掘調査では確認できなかったものであるが、明治初年の地図には、発掘区内に「阿弥陀寺」の存在が確認されたため、同寺に伴う墓域である可能性が高い。但し、阿弥陀寺は現在廃寺となっており、その建立年代も不明である。

中世墓坑の内訳は、土坑墓 25 基・火葬跡 3 基である。これらの合計 28 基から、25 体の人骨が出土した。 残念ながら中世墓坑の上部は削平されており、不明な点も多々あるが、多くは頭位を北側にした屈葬であり群馬 県内の典型的な埋葬方法である。同様に、3 基の火葬跡も主体部を南北にして東側あるいは西側に袖を持つタイプであり群馬県内の火葬跡の典型的な形をとっている。これら以外に、II 区確認トレンチ掘削時に近世人骨が1 体出土している。本遺跡での特筆すべき土坑として、DB - 10 出土人骨がある。この土坑の規模は長軸 86cm・短軸 68cm と小さい。しかしながら、被葬者は 30 歳代の男性と推定されており、小児ではないためその小さい規模が目立つ。実際、出土人骨は頭部のみの頭蓋骨で、状況からは首塚と推定される。群馬県内におけるこのような事例は、上野国分僧寺・尼寺中間地域の D - 1 号土坑墓に認められる。平面形態は長楕円形を呈し、長軸 78cm・短軸 36cm の規模である。被葬者は壮年の女性と推定されている、

群馬県内で検出された中世墓坑で出土人骨数が比較的まとまっており、かつ、出土人骨の報告がなされているものを見ると、上野国分僧寺尼寺中間地域遺跡 [15世紀~16世紀]、小八木志志貝戸遺跡群2区と同4区 [14世紀~16世紀前半]、元総社蒼海遺跡群(5) [14世紀後半~15世紀後半]の3遺跡である。これら以外に鳥羽遺跡(中世合計24基:土坑墓23基・火葬跡1基、その他古代土坑墓8基・近世土坑墓3基)や富田遺跡群(中世合計59基:骨蔵器墓5・火葬跡2・火葬墓36・板碑墓7・石塔墓8・その他1)からも多数の人骨が検出されているが、まとめた人骨の報告が無いため除外した。本遺跡では、25体の人骨が出土しているが、調査区のすぐ南にある小見内Ⅲ遺跡6区からは、7基の火葬跡から7体の中世火葬人骨と8基の土坑墓から8体の近世人骨が出土している。本遺跡で中世人骨25体と近世人骨1体、小見内Ⅲ遺跡で7体の中世人骨と8体の近世人骨を合計すると41体となり、中世から近世にかけて大きな墓域を形成していたと推定される。

Tab. 9 群馬県出土中世人骨まとめ表

	元総社蒼海(17 街区) 本遺跡 合計 25 体			本遺跡 (楢﨑 2006)				5)		木志志貝戸 宮崎 2001a 合計 65 体	ab)	上野国分寺中間地域 (森本他 1986) 合計 56 体		
	8	우	不明	8	우	不明	8	우	不明	8	우	不明		
成 人	12	6	1	16	22	_	12	22	25	20	22	-		
未成年	1	2	2	6	11	5	1	-	3	-	_	4		
不 明	_	-	1	-	-	12	-	_	2	-	_	10		
合 計	13	8	4	22	33	17	13	22	30	20	22	14		

引用文献 [著者名の五十音順]

宮崎重雄 2001a 「 3-1. 人骨・獣骨について」『小八木志志貝戸遺跡群 2』、(財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団

宮崎重雄 2001b 「3-1. 人歯骨・獣歯」『小八木志志貝戸遺跡群 3』、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

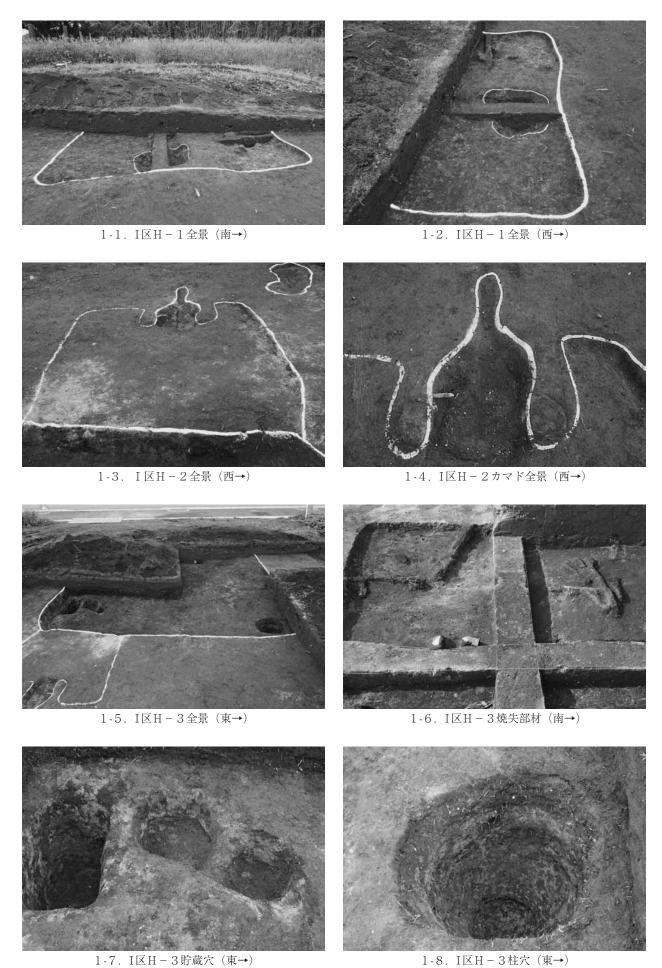
楢崎修一郎 2006a 「元総社蒼海遺跡群(5)出土人骨:遺構編」『元総社蒼海遺跡群(5)』、前橋市埋蔵文化財発掘調査団

楢崎修一郎 2006b 「元総社蒼海遺跡群(5)出土人骨:遺構外編」『元総社蒼海遺跡群(5)』、前橋市埋蔵文化財発掘調査団

楢崎修一郎 2006c 「元総社小見内皿遺跡出土人骨」『元総社蒼海遺跡群(5)』、前橋市埋蔵文化財発掘調査団

楢崎修一郎 2006d 「元総社小見内Ⅲ遺跡出土火葬人骨」『元総社蒼海遺跡群(5)』、前橋市埋蔵文化財発掘調査団

森本岩太郎・吉田俊爾・工藤宏幸・平田和明 1986 「第6章.出土遺物の鑑定」『上野国分僧寺・尼寺中間地域(1)』、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

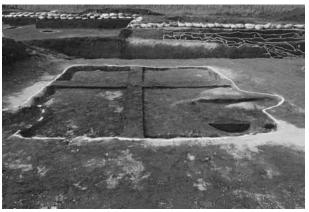




2-1 Ⅱ区空撮全景 (南→)



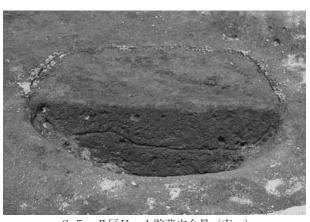
2-2. Ⅱ区H-1全景 (西→)



2-3. Ⅱ区H-1全景 (南→)



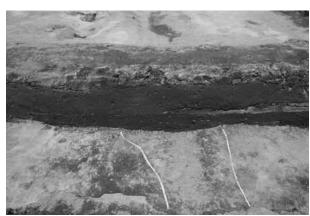
2-4. Ⅱ区H-1カマド全景 (西→)



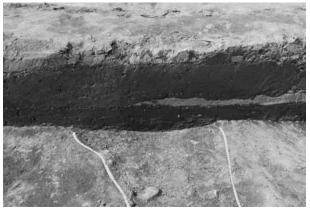
2-5. Ⅱ区H-1貯蔵穴全景(南→)



3-1. Ⅱ区R-1全景 (南→)



3-2. Ⅱ区確認トレンチ部R-1全景 (南→)



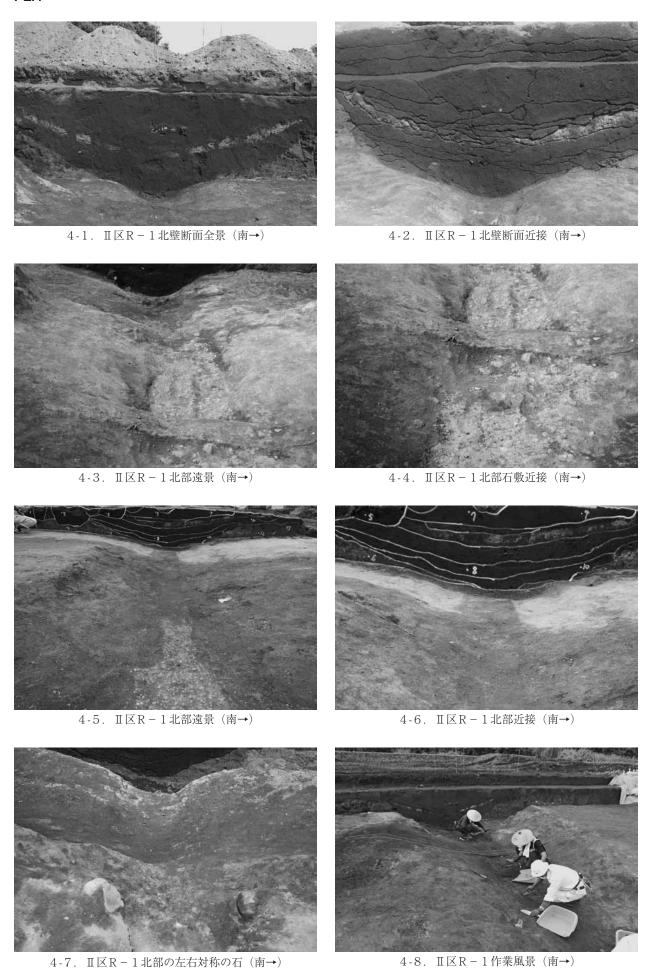
3-3. Ⅱ区確認 R - 1 トレンチ断面 (南→)

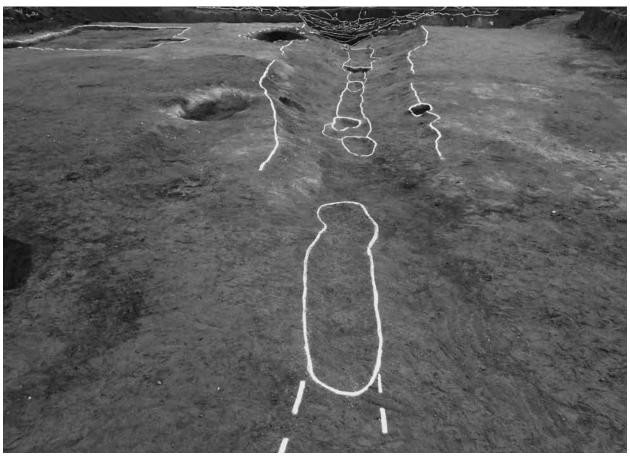


3-4. Ⅱ区確認トレンチ部D-1全景(南→)

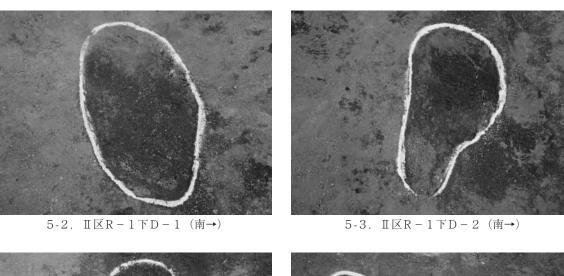


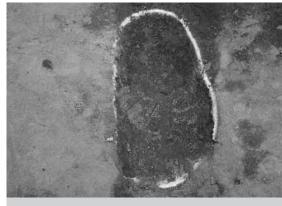
3-5. Ⅱ区確認トレンチ部D-1近接(南→)



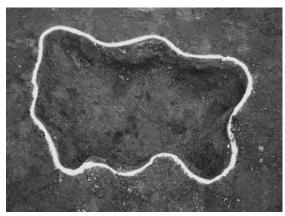


5-1. II区2面R-1掘り方全景(南→)





5-4. I区R-1下D-3 (南→)



5-5. II区R-1下D-4 (南→)



6-1. Ⅱ区1面中世墓坑全景(南→)



6-2. Ⅱ区1面中世墓坑東部(南→)



6-3. Ⅱ区1面中世墓坑中央部(南→)



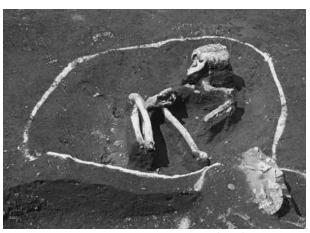
6-4. Ⅱ区1面中世墓坑中央部北側(南→)



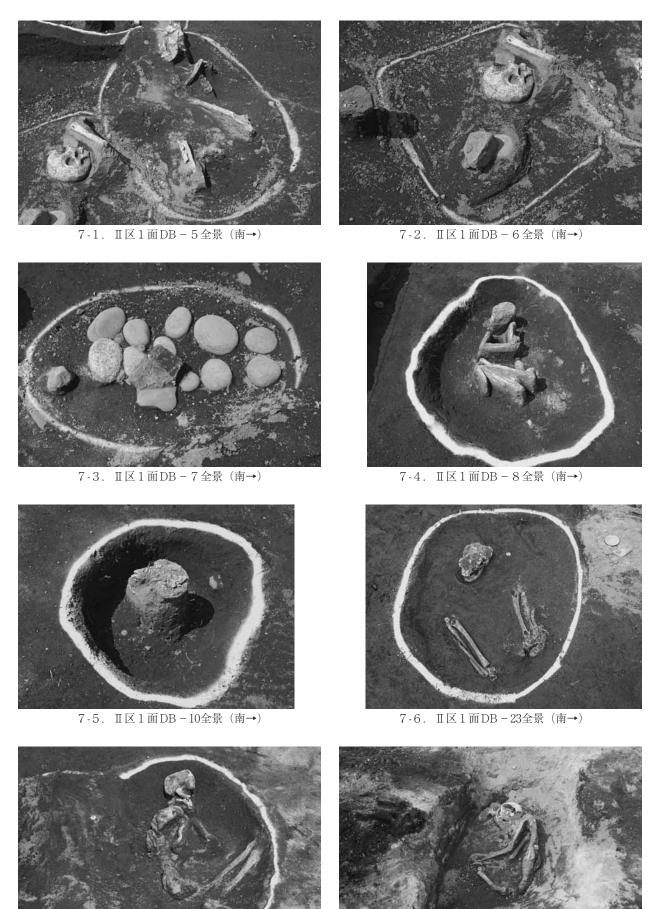
6-5. Ⅱ区1面中世墓坑西部(南→)



6-6. Ⅱ区1面DB-1全景 (南→)



6-7. Ⅱ区1面DB-4全景(南→)



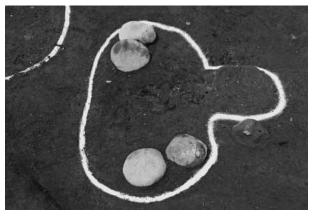
7-7. II区1面 DB-25全景 (南→) 7-8. II区1面DB-26全景 (南→)



8-1. Ⅱ区1面KB-1全景(南→)



8-2. Ⅱ区1面KB-2全景1 (南→)



8-3. Ⅱ区1面KB-2全景2 (南→)



8-4. Ⅱ区1面KB-3全景 (南→)



8-5. Ⅱ区1面D-1全景 (南→)



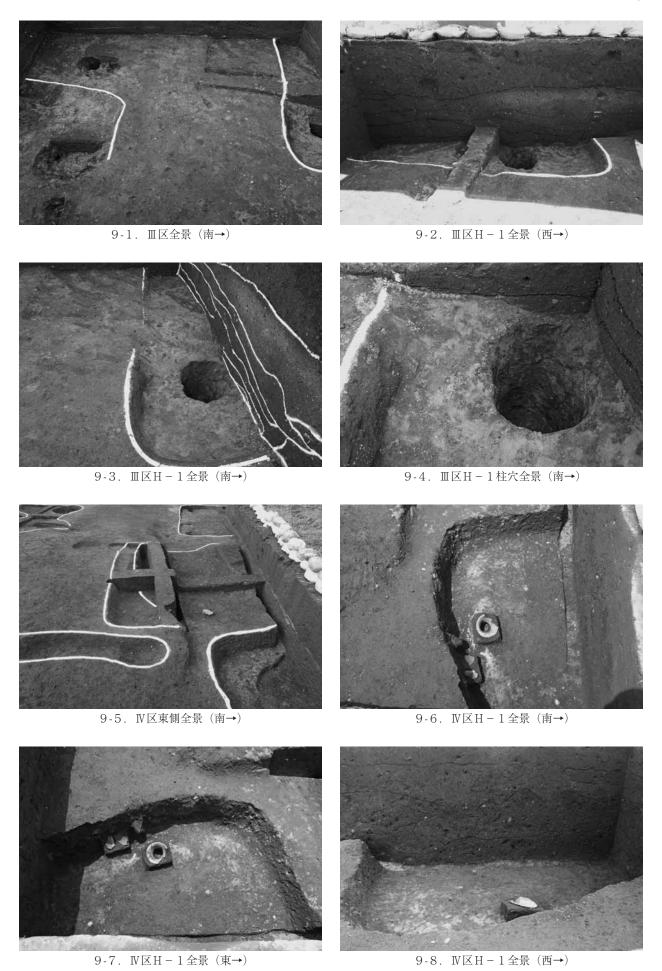
8-6. Ⅱ区1面D-1近接1 (西→)

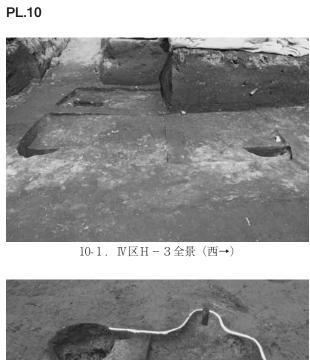


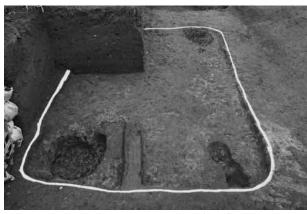
8-7. Ⅱ区1面D-1近接2(北→)



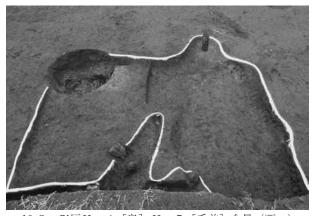
8-8. Ⅱ区1面D-1近接3 (西→)



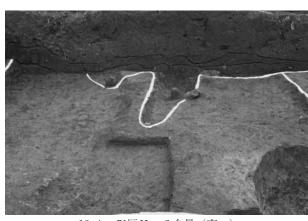




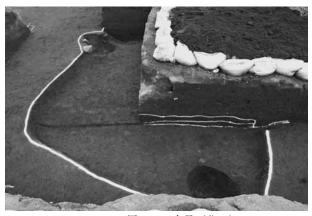
10-1. Ⅳ区H-3全景(北→)



10-3. Ⅳ区H-4 [奥]·H-5 [手前] 全景 (西→)



10-4. Ⅳ区H-6全景(東→)



10-5. Ⅳ区H-6全景(北→)



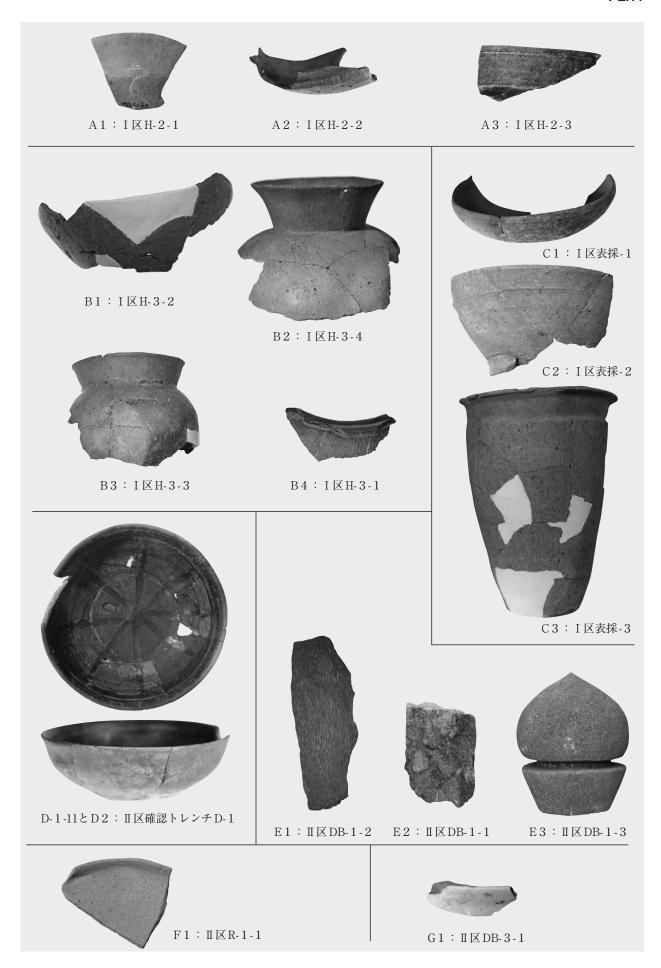
10-6. Ⅳ区H-6全景(東→)

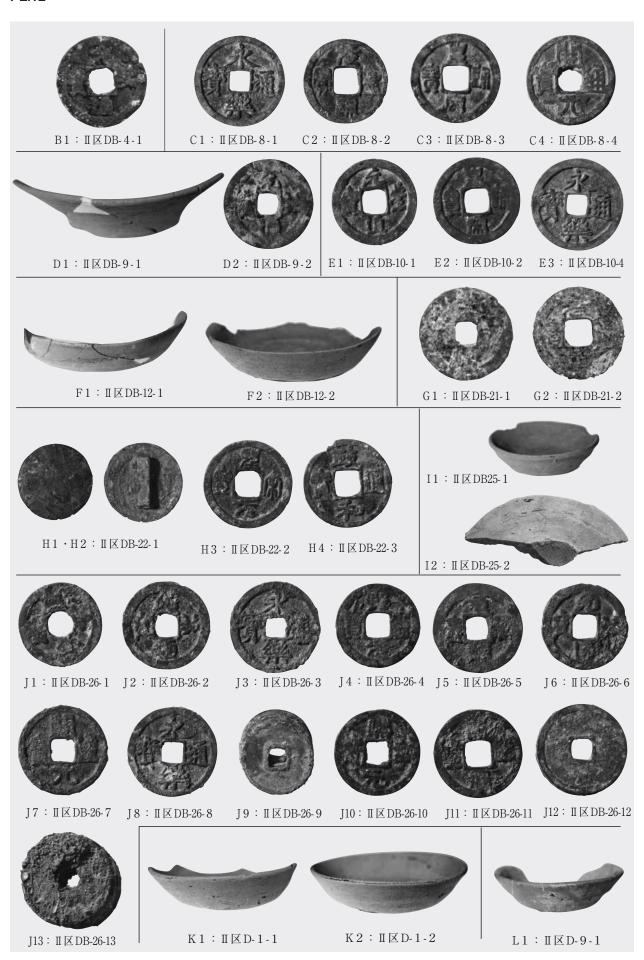


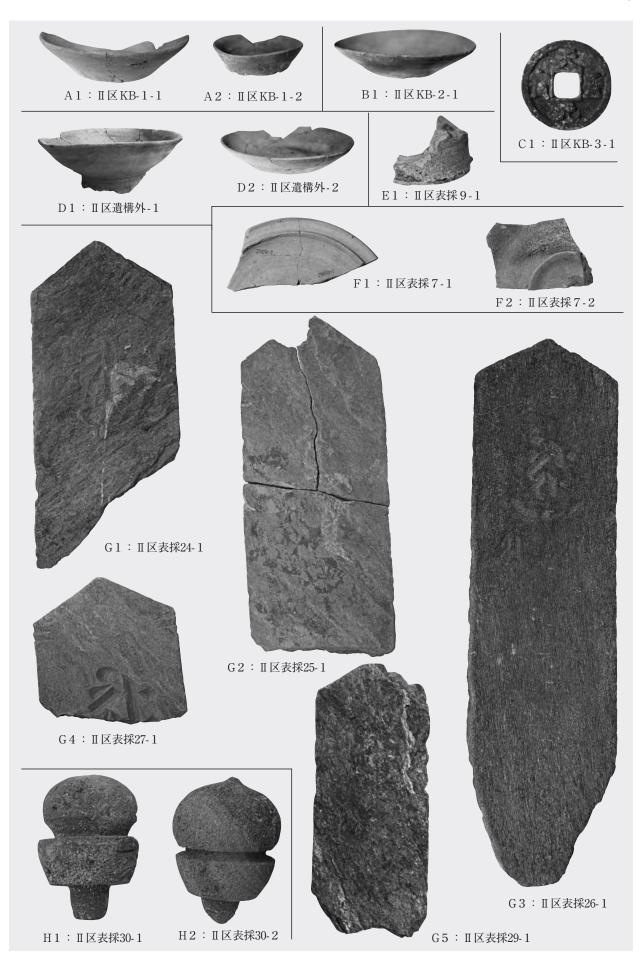
10-7. Ⅳ区W-1 [左]・W-2 [右] 全景 (南→)

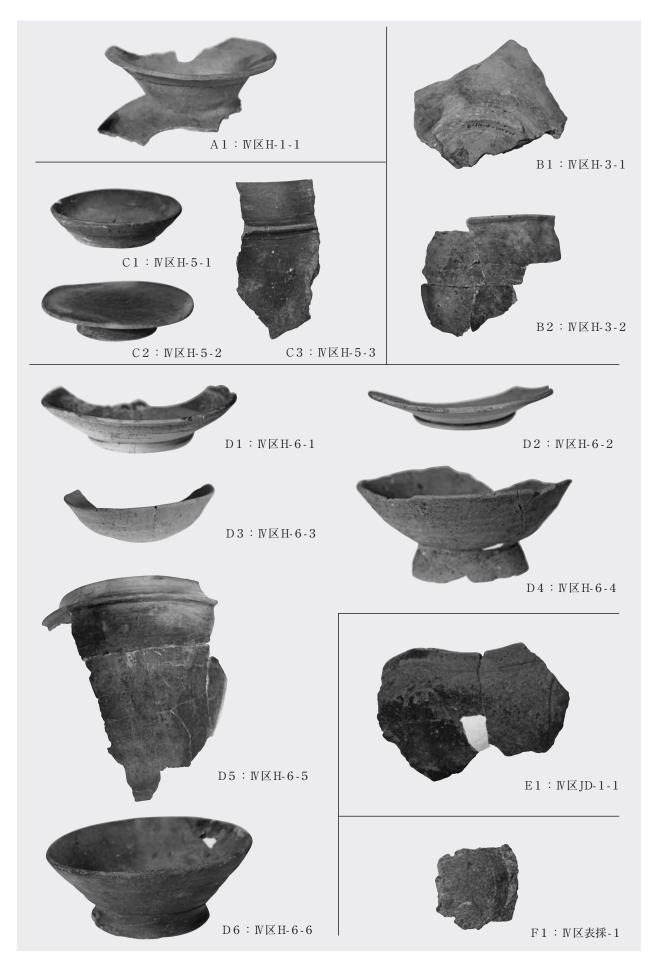


10-8. IV区TD - 1 全景 (西→)









報告書抄録

カタカナ	モトソウジャオウミイセキグン(17ガイク)
書名	元総社蒼海遺跡群(17街区)
副書名	JX日鉱日石エネルギー株式会社店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻 次	-
シリーズ名	-
シリーズ番号	-
編著者名	藤坂和延・楢崎修一郎
編集機関	技研コンサル株式会社
編集機関所在地	〒371-0031 群馬県前橋市下小出町1丁目15番地3
発 行 機 関	前橋市教育委員会
発行機関所在地	〒371-0853 群馬県前橋市総社町3丁目11番地4
発行年月日	2016年 1 月29日

フ リ ガ ナ	フ リ ガ ナ	コ -	- F	位	置	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所 在 地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	神旦粉间	神旦即復	調旦尿凸
***	前橋市元総社町 1804-1・1803、 同総社町 3097・3098	102021	0142	36° 39′ 34″	139° 03′ 93″	20150629	(539.12㎡ +56.6㎡ (確認ト	JX日鉱日石エ ネルギー株式会 社店舗建設に伴 う埋蔵文化財発 掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主 な 遺 物	特 記 事 項
元総社蒼海遺跡群 (17街区)	集落跡・ 道跡・墓坑	古墳~平安 中世	土坑墓 21基	銭貨・五輪塔・板碑	古墳〜平安時代の集落遺跡 古代の道 中世の土坑墓

元 総 社 蒼 海 遺 跡 群(17街区) IX日鉱日石エネルギー株式会社店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘網査報告書

2016年1月25日 印刷 2016年1月29日 発行

発行 前橋市教育委員会文化財保護課

〒371-0853 群馬県前橋市総社町3丁目11番地4 TEL 027-280-6511

編集 技研コンサル株式会社 印刷 朝日印刷工業株式会社